

嘉麻市教育委員会 点検・評価報告書

(平成29年度事業分)



コミュニティ活動支援事業
“ふるさと探検隊”

平成30年8月

嘉麻市教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条及び嘉麻市教育基本条例第7条の規定に基づき、平成29年度の教育委員会の点検及び評価を行いましたことを報告します。

嘉麻市教育委員会委員名簿

平成30年8月現在

職名	氏名	任期
委員長	豊福 眸子	平成30年 7月 4日～平成34年 7月 3日
委員長職務代理者	佐竹 正利	平成29年 7月 4日～平成33年 7月 3日
委員	辻田 喜美	平成28年 8月29日～平成32年 8月28日
委員	犬丸 隆行	平成27年 7月 4日～平成31年 7月 3日
教育長	木本 寛昭	平成26年11月 9日～平成30年11月 8日

目 次

1. 教育委員会点検・評価の概要について	1
(1) はじめに	1
(2) 点検・評価の導入の目的	1
(3) 点検・評価する対象	1
(4) 点検・評価の方法	1
(5) 結果の取扱い	2
(6) 嘉麻市教育行政の基本理念	2
(7) 嘉麻市教育振興基本計画	2
「第3次嘉麻市教育アクションプラン（平成27年度～平成29年度）」	
2. 教育委員会の取組み	3
(1) 平成29年度教育委員会実施状況	3
(2) 平成29年度教育委員会の会議における主な議案	3
(3) 平成29年度教育委員会の会議における協議	4
(4) 平成29年度教育委員会の会議における報告	4
3. 各種学校調査の結果	6
4. 事業別評価結果	9
■重要課題1 少人数指導等による学力向上	13
■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実	18
■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進	37
■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	53
■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進	66
■重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進	72
■重要課題7 市民文化の創造	76
5. 全体評価結果	83
《資料》	
・ 嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱	87
・ 平成30年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿	89

1. 教育委員会点検・評価の概要について

(1) はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）の一部改正及び嘉麻市教育基本条例の制定により、平成20年4月から、嘉麻市教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しています。

(2) 点検・評価の導入の目的

教育委員会制度は、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針のもと、教育長及び事務局が広範かつ専門的な具体の教育行政事務を執行するものです。

このため、事前に教育委員会が立てた基本方針にそって、具体的な教育行政が執行されているかどうかについて、教育委員会自らが事後にチェックする必要があり、教育委員会が地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実させることが目的です。

(3) 点検・評価する対象

第3次嘉麻市教育アクションプラン（平成27年度～平成29年度嘉麻市教育振興基本計画）の事業を対象とします。

(4) 点検・評価の方法

事業ごとに目標達成度の観点から自己評価を行い、点検・評価の客観性を確保するために第三者評価を行いました。

第三者評価については、教育委員や現場教員・事務局職員等ではない人で、教育に関して公正な意見を述べるのが期待できる人を想定し、議会、PTA連合会、社会教育委員の会議、公民館運営審議会、図書館協議会、織田廣喜美術館運営協議会、スポーツ推進委員、文化財保護審議会より推薦をいただいた方に依頼し、評価していただきました。

《点検・評価の流れ》

- ① 教育委員会事務局（担当課）においてその所管する事務事業等を自己評価
- ② 自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員を設置し、自己評価に対しての評価
- ③ 教育委員会は評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価
- ④ 議会へ報告
- ⑤ 議会報告後、速やかにホームページ等で一般公表

(5) 結果の取扱い

この点検・評価においては、事業ごとに4段階【A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要】で評価し、評価の高い事業については引き続き実施し、評価の低い事業については課題や問題の解決を行うと同時に、事業の見直しについて検討していく予定です。

(6) 嘉麻市教育行政の基本理念

嘉麻市教育委員会では、嘉麻市教育基本条例第2条の基本理念に基づき、本市の教育行政を実施していきます。

嘉麻市教育基本条例(抜粋)

(基本理念)

第2条 教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び地域社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な市民の育成を期して行われなければならない。

2 市民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

3 家庭、地域住民及び市は、前2項に定める基本理念の実現に努めるものとする。

(7) 嘉麻市教育振興基本計画

「第3次嘉麻市教育アクションプラン（平成27年度～平成29年度）」

嘉麻市教育委員会では、教育行政の基本理念に基づき、本市における教育振興のための施策に関し基本的な事項を定めた「第3次嘉麻市教育アクションプラン」を策定し、学校教育、社会教育、文化・芸術の各分野における7つの教育施策を柱として、その実現に向けた施策を推進しました。

1. 少人数指導（1学級を30人以下の児童又は生徒で編成する等の指導形態をいう。）等による学力向上
2. 個性又は能力を育成する学校教育の充実
3. 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
4. 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進
5. 体力及び運動能力向上の推進
6. 人権尊重精神を育成する教育の推進
7. 市民文化の創造

この7つの施策に基づく事業を対象に、点検・評価を実施しました。

* 第3次嘉麻市教育アクションプラン（平成27年度～平成29年度 嘉麻市教育振興基本計画）は、以下のホームページにてご覧いただけます。

「嘉麻市教育アクションプラン」

<http://www.city.kama.lg.jp>・・・嘉麻を知る→嘉麻市教育委員会→教育総務係

2. 教育委員会の取組み

(1) 平成29年度教育委員会実施状況

教育委員会は教育長を含む5名の委員で構成され、会議の実施については、原則、定例会が毎月1回、臨時会は必要に応じて開催し、教育行政に関する重要事項等を適時適切に慎重に審議しています。

また、嘉麻市教育委員会定例学校訪問実施要項に基づき、定例学校訪問を実施しています。小中学校を訪問することで、学校教育現場の状況を確認することができ、教育委員の立場から要望など意見を述べました。

◆平成29年度教育委員会開催実績

- ・ 定例会 12回
- ・ 臨時会 2回 計 14回

◆平成29年度嘉麻市教育委員会学校訪問の実施状況

- ・ 定例学校訪問（3校）

嘉麻市教育委員会が各学校における学校経営の諸課題を把握するとともに、改善に向けた方向性について、協議及び所要の指導・支援を行うことにより、学校力を向上させる取組みです。

実施日：平成29年10月17日（火） 学校名：下山田小学校
平成29年10月25日（水） 学校名：上山田小学校
平成29年11月 2日（木） 学校名：嘉穂中学校

(2) 平成29年度教育委員会の会議における主な議案

番号	議案	開催日
1	嘉麻市社会体育施設の用途廃止について	4/3
2	嘉麻市スポーツ推進計画実施計画（案）の策定について	5/2
3	嘉麻市学校評議員の委嘱について	6/6
4	嘉麻市学校関係者評価委員の委嘱について	6/6
5	嘉麻市教育委員会委員長の選任について	7/4
6	嘉麻市教育委員会委員長職務代理者の選任について	7/4
7	平成30年度使用小学校教科用図書「特別の教科 道徳」の採択について	8/8
8	嘉麻市教育委員会点検・評価報告（平成28年度事業分）について	8/24
9	嘉麻市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	10/3
10	嘉麻市学校施設整備について（諮問）	1/9
11	嘉麻市学校施設整備審議会条例施行規則について	1/9

12	嘉麻市立学校施設の開放に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	3/1
13	嘉麻市公民館基本方針並びに基本計画策定について	3/1

(3) 平成29年度教育委員会の会議における協議

番号	協 議	開催日
1	第4次嘉麻市教育アクションプラン概要（案）について	12/6
2	第4次嘉麻市教育アクションプラン（素案）について	1/9
3	第4次嘉麻市教育アクションプラン（案）について	3/23

(4) 平成29年度教育委員会の会議における報告

番号	報 告	開催日
1	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	4/3
2	嘉麻市スポーツ推進審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	5/2
3	嘉麻市奨学資金貸付審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	5/2
4	嘉麻市奨学資金貸付審議会の諮問及び答申に関する臨時代理について	5/2
5	平成29年5月臨時議会上程議案について	5/2
6	嘉麻市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について	5/2
7	嘉麻市社会教育施設等使用料の減免に関する要綱の一部を改正する要綱について	5/2
8	嘉麻市社会教育施設備品貸出要綱について	5/2
9	平成28年度嘉麻市立中学校卒業生の進路報告について	5/2
10	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	5/2
11	平成29年度スポーツ推進委員の委嘱に関する臨時代理について	5/2
12	嘉麻市文化財保護審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	6/6
13	嘉麻市公民館運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	6/6
14	嘉麻市図書館協議会委員の委嘱に関する臨時代理について	6/6
15	嘉麻市就学援助費交付認定規程の一部を改正する告示について	6/6
16	嘉麻市特別教員規程の一部を改正する訓令について	6/6
17	平成29年6月議会上程議案について	6/6
18	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	6/6
19	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	7/4

20	嘉麻市奨学資金貸付審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	8/8
21	嘉麻市奨学資金貸付審議会の諮問及び答申に関する臨時代理について	8/8
22	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	8/8
23	嘉麻市社会体育施設条例の一部を改正する条例の施行期日を定める規則について	8/24
24	平成29年9月議会上程議案等について	8/24
25	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	9/5
26	嘉麻市立学校開放施設使用料の減免に関する要綱の一部を改正する要綱について	10/3
27	第2次嘉麻市学校施設整備基本計画検討会議設置要綱の一部を改正する要綱について	10/3
28	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	10/3
29	嘉麻市教育振興基本計画調整会議設置要綱の一部を改正する要綱について	11/7
30	第4次嘉麻市教育アクションプラン概要（案）について	11/7
31	全国学力・学習テスト結果について	11/7
32	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	11/7
33	嘉麻市スポーツ推進計画実施計画について（答申）	12/6
34	平成29年12月議会上程議案について	12/6
35	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	12/6
36	嘉麻市就学援助費交付認定規程の一部を改正する告示について	12/6
37	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	1/9
38	嘉麻市学校施設整備審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	2/6
39	嘉麻市学校給食運営審議会委員の委嘱に関する臨時代理について	2/6
40	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	2/6
41	平成30年3月議会上程議案について	3/1
42	平成30年度校長及び人権・同和教育担当者研修会共催申請について	3/1
43	生徒指導上の諸問題に関する実態調査「月例報告」について	3/1
44	嘉麻市学校施設整備審議会の進捗状況について	3/1
45	嘉麻市特別教員規程の一部を改正する訓令について	3/23
46	嘉麻市特別支援教育補助教員等配置要綱について	3/23
47	嘉麻市学校施設整備について（答申）	3/23
48	平成30年度教職員の人事（内示）について	3/23

3. 各種学校調査の結果

まず、はじめに嘉麻市内各小中学校における、少人数指導特別教員、特別支援学級介助員・支援員等の配置状況をまとめました。平成28年度と比べ、少人数指導特別教員の配置については3名増員、特別支援学級介助員、支援員は2名増員、特別支援教育補助教員は2名増員となりました。少人数指導特別教員の増員は、児童生徒の増加によるものです。

今後も学習支援の環境の充実と、個に応じた適切な支援を図っていきます。

○小中学校（全13校）における、特別支援学級介助員等の配置数

No.	点検・評価項目	内 容	H28	H29
1	少人数指導特別教員の配置	少人数授業の指導を行うために市費で雇用	18名	21名
2	特別支援学級介助員・特別支援学級支援員の配置	肢体不自由な児童生徒の介助や特別支援学級に在籍する児童生徒の支援を行うために市費で雇用	22名	24名
3	特別支援教育補助教員の配置	普通学級に在籍している特別支援の必要な児童生徒の指導等を行うために市費で雇用	17名	19名

次に示すのは、各小中学校で行われた、教育課程実施状況及び教育課程編成状況調査結果（No.1～No.4）全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果（No.5～No.9）を集計し、学校の取組み、児童生徒の学習状況等について、平成28年度から平成29年度を併記して比較したものです。

各小中学校の教育課程実施状況等の結果（No.1～No.4）からは、学習の場の設定と指導方法の工夫が積極的に図られていることが伺えます。具体的には、「基礎基本の定着を図る学習」や、学習した内容の未消化部分をなくすための「補充学習」が全ての学校において実施されています。また、「発展学習」にも1校を除く全ての学校が取組んでおり、身につけた基礎的な知識や技能を活用して、思考力・判断力・表現力を育てる学習が実施できているものととらえます。さらに、「きめ細かな指導の実施」については、全ての学校で個の課題や習熟度に応じた分割授業や複数の教員が協働的に指導するティームティーチング授業が、ねらいに応じて展開されていることが読み取れます。

次に、全国学力・学習状況調査における児童生徒質問紙の結果（No.5～No.9）では、「食習慣の安定」について、小学校では低下し、中学校では上昇しています。両者とも平均には達しておらず、自分の食生活を見つめ、改善しようとする食に関する指導や保護者啓発の継続が必要です。また、「自己肯定感」については、小中学校で低下が見られ、特に小学校では、依然として平均より10ポイント程度低い傾向にあり、自尊感情を高める取組みが必要です。

「家庭での学習習慣」は小中学校ともに、若干の低下が見られましたが、学習時間や学習内容について、具体的な指標のもと、取組みを各学校で細かく検証していくことが必要です。そして、近年の児童生徒を取り巻く状況が大きく変化している中、「携

携帯電話・スマートフォンの所持率及び使用時間」が急増するとともに、活字離れの傾向も強くなっています。平日に「読書を全くしない」児童生徒の割合は、小学校では改善が見られましたが、中学校では増加しています。このことについては、「読書の日」に係る指導を強化し、読書活動を推進していく必要があります。

以上のような調査結果から、学習支援環境充実のための人的配置の継続及び効果的な活用と、児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導を今後も強化していくことが肝要であると考えます。

○小学校 8校 *学校・児童質問紙から ()は平成29年度の国・県の平均値

No.	点検・評価項目	内 容	H28	H29
1	基礎基本の定着	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	8校	8校
2	補充学習の指導	教科の学習時間に補充学習を行っている学校	8校	8校
3	発展学習の指導	教科の学習時間に発展学習を行っている学校	8校	8校
4	きめ細かな指導の実施	少人数指導（チームティーチングを含む）を行った学校	8校	8校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	8校	8校
	内訳：非分割授業	学習集団を分けずに、チームティーチングによる授業を行った学校	7校	8校
5	食習慣の安定	朝食を毎日食べている児童 (国 95.4%、県 93.0%)	94.6%	89.9%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う児童 (国 77.9%、県 77.2%)	67.7%	67.3%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている児童 (国 96.9%、県 96.3%)	94.9%	92.3%
8	携帯電話等の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている児童 (国 63.2%、県 66.5%)	65.5%	67.6%
9	読書の習慣	家や図書館で全く読書をしない児童 (国 20.5%、県 22.7%)	23.3%	20.2%

○中学校 5校 ()は平成29年度の国・県の平均値

No.	点検・評価項目	内 容	H28	H29
1	基礎基本の定着	基礎的、基本的な知識や技能の徹底を図る時間を設定している学校	5校	5校
2	補充学習の指導	教科の学習時間に補充学習を行っている学校	5校	5校
3	発展学習の指導	教科の学習時間に発展学習を行っている学校	4校	4校

4	きめ細かな指導の実施	少人数指導（チームティーチングを含む）を行った学校	5校	5校
	内訳：分割授業	課題別・習熟度別に分割授業を行った学校	5校	5校
	内訳：非分割授業	学習集団を分けずに、チームティーチングによる授業を行った学校	5校	5校
5	食習慣の安定	朝食を毎日食べている生徒 （国 93.2%、県 91.4%）	89.7%	90.1%
6	自己肯定感	自分にはよい所があると思う生徒 （国 70.7%、県 70.3%）	66.6%	63.8%
7	家庭での学習習慣	家で学校の宿題をしている生徒 （国 89.5%、県 90.1%）	86.3%	85.1%
8	携帯電話等の使用状況	携帯電話で通話やメールをしている生徒 （国 83.6%、県 84.8%）	84.7%	83.6%
9	読書の習慣	家や図書館で全く読書をしない生徒 （国 35.6%、県 40.4%）	42.5%	44.0%

4. 事業別評価結果

■重要課題1 少人数指導等による学力向上

施策の内容	番号	事業名	A	B	C	D
(1) 確かな学力向上のための取組みの推進	1	少人数指導推進事業	○			
	2	学校提案型学力向上事業		○		
	3	研究指定校補助事業	○			
	4	学力検証事業	○			
	5	嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業	○			

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

施策の内容	番号	事業名	A	B	C	D
(1) 子どものニーズに応じる教育の充実	6	特別支援教育総合推進事業	○			
	7	補助教員配置事業	○			
(2) 社会の変化に対応する教育の充実	8	英語コミュニケーション能力の育成事業	○			
	9	情報教育推進事業	○			
	10	情報教育施設整備事業	○			
(3) 信頼される教員の確保と研修の充実	11	持続可能な社会を実現する環境教育の推進	○			
	12	嘉麻市教育センター研修推進事業	○			
(4) 安心して学べる学校づくりの推進	13	教職員人事配置事業	○			
	14	学校防犯体制整備事業	○			
(5) 学校施設整備の推進	15	通学対策事業	○			
	16	学校施設維持管理業務事業	○			
	17	大隈城山校維持管理事業	○			
(6) 地域に開かれた学校づくりの推進	18	大規模改造工事事業	○			
	19	学校関係者評価事業	○			
(7) 小中連携教育への取組み	20	学校開放事務事業	○			
	21	小中連携教育等基本方針作成事業		○		
(8) 教育の機会均等の促進	22	小中連携・一貫教育研究事業		○		
	23	就学援助事業	○			
	24	奨学金事業		○		

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

施策の内容	番号	事業名	A	B	C	D
(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実	25	道徳教育推進事業		○		
	26	キャリア教育推進事業	○			
	27	ボランティア活動推進事業	○			
(2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実	28	学校保健事業		○		
	29	学校給食運営事業	○			
	30	学校給食費算定及び収納事業	○			
(3) 家庭・地域・学校における読書活動推進	31	読書活動推進事業		○		
(4) いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実	32	適応指導教室(れすとぴあ)推進事業	○			
	33	教育相談推進事業	○			
	34	学校支援相談員配置事業	○			
(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実	35	地域教育資源活用事業		○		
	36	学社連携融合事業	○			
	37	家庭教育支援事業	○			
	38	青少年健全育成事業	○			
(6) 男女共同参画教育の推進	39	学校における男女共同参画推進事業	○			
	40	地域社会における男女共同参画推進事業	○			

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

施策の内容	番号	事業名	A	B	C	D
(1) 生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備	41	社会教育関係団体等育成事業		○		
	42	社会教育関係団体活性化補助事業		○		
(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進	43	社会教育施設整備事業		○		
	44	ボランティア人材バンク事業		○		
	45	生涯学習推進事業	○			
	46	青少年体験活動推進事業	○			
	47	公民館・分館等の連携強化推進事業	○			
	48	分館及び自治公民館等活動費補助事業		○		
	49	コミュニティ活動支援事業	○			
	50	公民館事業	○			

(3) 図書館の利用促進	51	図書館施設管理運営事業		○		
	52	読書活動推進事業	○			
	53	図書ボランティア養成事業	○			

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

施策の内容	番号	事業名	A	B	C	D
(1) スポーツによる地域の活性化	54	スポーツコミュニティ創造事業		○		
	55	スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業	○			
(2) スポーツ環境の整備	56	スポーツ環境創成事業		○		
	57	社会体育施設管理運営事業	○			
(3) 生涯スポーツの推進	58	プロジェクトK事業	○			
(4) 競技スポーツの推進	59	競技スポーツ推進事業	○			

■重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進

施策の内容	番号	事業名	A	B	C	D
(1) 学校教育における人権・同和教育の推進及び支援	60	人権・同和教育推進事業		○		
(2) 社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	61	人権学習推進事業		○		
	62	解放子ども会育成事業	○			
	63	解放学級育成事業		○		

■重要課題7 市民文化の創造

施策の内容	番号	事業名	A	B	C	D
(1) 美術に関する創造的活動の推進	64	文化芸術活動推進事業		○		
	65	美術館運営管理事業		○		
	66	企画展事業		○		
	67	美術教育普及事業		○		
(2) 文化財の保護・継承・活用	68	文化財保護事業		○		
	69	歴史民俗教育普及事業	○			
	70	歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業		○		

☆点検評価表の見方☆

事業名 (予算/決算)	[番号] 事業名 (課: 係) (予算: 千円 / 決算: 千円)																				
目的	事業の目的について記載しています。																				
事業内容	平成29年度に実施した事業について記載しています。																				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 平成29年度の課題としてあげた事項等を記載しています。</p> <p>【課題等への取組み】 上記の課題について、どのような取組みをしたか記載しています。</p>																				
事務局 自己評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【評価項目】</th> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業の必要性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の効果</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業の効率性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	【評価項目】	A	B	C	D	事業の必要性					事業の効果					事業の効率性				
	【評価項目】	A	B	C	D																
	事業の必要性																				
	事業の効果																				
事業の効率性																					
<p>【自己評価の根拠】 自己評価に至った理由について記載しています。 また、評価の指標は次のとおりです。 A：期待どおり B：概ね期待どおり C：課題あり D：事業の見直し要</p>																					
今後の方向性	この事業の目的を達成するための方向性について記載しています。																				
平成30年度の課題	平成30年度の課題について記載しています。																				
<p>【評価委員の意見】 点検評価委員会議でいただいた委員の意見を記載しています。</p>																					
<table border="1"> <tr> <td rowspan="2" style="font-size: 1.2em;">教育委員会評価</td> <td style="text-align: center;">今回</td> <td style="text-align: center;">※</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">(前回)</td> <td style="text-align: center;">(※)</td> </tr> </table>		教育委員会評価	今回	※	(前回)	(※)															
教育委員会評価	今回		※																		
	(前回)	(※)																			

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

※点検評価委員の意見を踏まえ、教育委員会で評価しました。

■重要課題 1 少人数指導等による学力向上

(1) 確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算/決算)	[1] 少人数指導推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：95,444千円 / 決算：95,444千円)				
目的	少人数指導(1学級を30人以下の児童又は生徒で編制する等の指導形態をいう。)により、より個に応じた指導を行うことによって、生徒指導の充実、学力を向上させるよう努めます。				
事業内容	小学校11名、中学校10名の少人数指導特別教員を配置し、小中学校の少人数指導を推進しています。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 学校間・学年間・学級間の格差の要因分析に努め、市費による少人数指導特別教員のさらなる授業力・指導技術向上の指導、支援を強化することです。</p> <p>【課題等への取組み】 指導力の向上に努め、嘉麻市教育センターにおける研修会の実施や指導主事による継続的な指導を進めてきました。 少人数での一斉授業に加え、習熟度に応じた分割授業や家庭学習の定着と内容の個別化を推進しました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】 小学校においては、習熟度に応じた学習をどの学級でも成立させるため、個別支援シートが提供される教材ソフトを導入し活用できました。また、家庭学習の時間と課題の量、内容の個別化を推進したり、学力の指標を短期に設定した取組みを進めるよう、学校を支援しました。その結果、標準学力検査NRT(小学校)の結果は、平成26年度以降標準偏差値50を上回り、51.5まで上昇しています。標準学力分析検査(中学校)の結果も年々上昇しており、標準偏差値に対して(-2.1)にまで縮まりました。 不登校の児童生徒は全国の傾向に反して減少傾向にあり、46名となっています。</p>				
今後の方向性	少人数指導により、個に応じたきめ細かな指導を充実させます。学力の向上はもとより、児童生徒一人ひとりに向き合う時間を確保し、安心・安全な学習環境を提供します。				
平成30年度の課題	少人数指導の利点を最大限に生かせる具体的な手立てを各学校に提示しながら、授業力の向上と児童生徒理解の深化を図ります。				
	<p>【評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少人数指導教員を配置して、1学級30人編成にしたことは県下でも少なく、豊かな教育環境にある嘉麻市の更なる発展を祈ります。 ・不登校児童生徒が減少していることは良いことです。 				
教育委員会評価		今回	A		
		(前回)	(B)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題 1 少人数指導等による学力向上

(1) 確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算/決算)	[2] 学校提案型学力向上事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：3,225 千円 / 決算：2,896 千円)				
目的	学校提案による教育課程外の事業を実施することにより、各学校・地域等の活性化を図り、学力を向上させるよう努めます。				
事業内容	学校提案による学校外補習学習推進事業を小学校 7 校、中学校 4 校で実施しました。				
平成 29 年度の課題と取組み	<p>【課題等】 小中学校において、基礎学力が定着していない児童生徒に対するよりきめ細かな指導を行うことです。地域の方の支援により、児童生徒を支える非認知的な部分も強化する考え方を提案することです。</p> <p>【課題等への取組み】 各学校では、基礎基本の徹底反復や補習学習の指導時間や個に応じた教材を用いた指導等、独自の取組みを進めました。指導にあたっては、学習の支援者として地域の方や学生サポーターの協力を得ました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】 夏季・冬季休業中、放課後に、地域の方々や学生サポーターに学習支援者としてご協力いただき、基礎基本の定着を中心とした学習を行いました。児童生徒は、わかる・できる喜びを味わうとともに、個別対応していただける安心感から意欲的に学習することができました。また、この事業を通して、地域の方に学校の教育活動を理解していただく機会となっています。</p>				
今後の方向性	次年度からは、本事業を学力向上強化プロジェクト事業に位置付け、学校外補習学習事業として、各学校が長期休業期間や放課後の時間を利用し、自校の課題克服を目指した独自の取組みが展開できるように工夫する必要があります。				
平成 30 年度の課題	地域人材や学生サポーターの活用を継続しながら、効果のあるモデル的实践を各校に普及させる必要があります。実態に即した実践の充実が図られるように情報提供や学校からの提案時に指導をしていきます。				
<p>【評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方々や学生サポーターの支援は嬉しいことです。更なる発展を祈ります。 ・ 地域の方々や学生サポーターには、教え方を指導されていますか。教えるにあたっては、それなりの知識がないとだめだと思います。 					
教育委員会評価		今回	B		
		(前回)	(A)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題 1 少人数指導等による学力向上

(1) 確かな学力の向上のための取組みの推進

事業名 (予算/決算)	[3] 研究指定校補助事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：1,700 千円 / 決算：1,700 千円)				
目的	研究指定事業を通して、教職員の実践的指導力の向上を図るとともに、一人ひとりの資質の向上に向けた研修等への参加支援体制の整備を図ります。				
事業内容	研究指定校を3ヶ年事業として、毎年中学校区単位で委嘱し、3年次に研究発表を行います。平成29年度は、3年目の稲築東小学校・稲築東中学校が研究成果を広める発表会を実施しました。研究2年目が、熊ヶ畑小学校、上山田小学校、下山田小学校、山田中学校、1年目が嘉穂小、牛隈小、嘉穂中学校でした。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 9年間の学びの継続が小中連携して確立するよう、校区としての課題の明確化と取組みの具体化について指導・支援することが課題です。 【課題等への取組み】 指導主事を派遣し、授業づくりについての指導助言、授業後の協議等を行いました。また、研究発表校区の主幹教諭連絡協議会へも指導主事を派遣し、校区としての課題の共有やそれに伴う取組みについて指導助言を行いました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 3ヶ年次の研究発表に向けて、校区の課題を明確にし、学習や生活基盤づくりへと具現化を図るような話合いを持ち、取組みを進めることができました。また、学校のニーズに応じて、研究主任等への指導を行うことで、研究を円滑に進めることもでき、児童生徒の学びの変容が見られました。しかし、研究発表会における小中連携の取組みには、まだ不十分なところもあります。					
今後の方向性	本事業は、学力向上等校区の課題解消を目指し、協働して組織的に児童生徒を教育する良い機会です。今後は、校区においても小中の連携を強化し、組織的に研修を進めていく必要があります。				
平成30年度の課題	校区としての課題を明らかにし、小中9年間を見通した学びを目指し、学習、生活、仲間づくり等についての指導の在り方を共有しながら、組織的に取組みを行うことができるよう指導・支援します。				
【評価委員の意見】 ・教員の指導力の向上は大切なことです。発表のための発表ではなく、小さな実践でも発表し、子どもの楽しい学習の姿が見たいです。子どもは国の宝です。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題 1 少人数指導等による学力向上

(1) 確かな学力の向上のための取り組みの推進

事業名 (予算/決算)	[4] 学力検証事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：7,542千円 / 決算：7,122千円)				
目的	児童生徒の実態を把握・分析し、課題を明らかにして学校内の組織的な取り組みの改善を図り、自ら学び考えるなどの確かな学力を育む教育の充実を図ります。				
事業内容	各種学力検査の結果を分析し、実効性のあるプランと各校のPDCAサイクルを確立します。				
平成29年度の課題と取り組み	<p>【課題等】 長期的な目標達成に向けた短期的な指標を各学年・各教科で柔軟に設定し、短期取組の成果を教師も児童生徒も実感できる活力ある実践づくりを支援します。</p> <p>【課題等への取組み】 主幹教諭研修会及び学力向上研修会を年間の学力向上検証委員会に位置付け、市として5回の検証改善委員会を設定しました。そして、短期検証改善サイクルを好循環させるための支援を継続実施しました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
	<p>【自己評価の根拠】 計画的に実施した年間5回の検証においては、検証の視点を焦点化して協議できました。そのことで、学力向上具体策が各学校で具現化されました。このように短期検証改善サイクルが好循環する状況は、外部から評価されるに至っています。小学校における標準学力検査NRTの結果は、3年連続して標準偏差値50を超え、51.5まで上昇しています。中学校の標準学力分析検査の結果は、年々上昇し、標準偏差値50にあと2.1まで近づいています。</p>				
今後の方向性	児童生徒の実態や学力を正確に把握、分析し、課題を明らかにして学校内の組織的な取り組みの改善を図ります。そのために、嘉麻市としての分析及び指導の方向性を明確に提示するとともに、指導と評価の一体化を図り、課題克服の取り組みを推進します。				
平成30年度の課題	学力向上具体策が各学校の各学級に浸透・徹底するよう、「嘉麻市学力向上全体構想」と各学校における各種プランの整合性を図り、運営面での指導助言とともに授業を改善する具体的な内容を指導します。				
	<p>【評価委員の意見】 ・日常の学習の成果が確実に検証され、それに基づいた授業の改善が要求されます。指導と評価により自分の学習指導を振り返り、改善して行ってほしいです。各教師の自覚を望みます。</p>				
教育委員会評価		今回	A		
		(前回)	(A)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題 1 少人数指導等による学力向上

(1) 確かな学力の向上のための取組みの推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[5] 嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：24,477千円 / 決算：23,493千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>学校への指導及び支援体制をより強化し、学校の組織体制を確立するとともに、嘉麻市土曜未来塾において、基礎基本の学力の定着、家庭学習の習慣化を図り、学力の向上に努めます。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>嘉麻市土曜未来塾を市内7箇所において、56人の学習サポーターを活用し、実施しました。また、学力向上推進員(教職員OB)が学校を訪問した際、土曜未来塾の広報及び成果の情報収集を行いました。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 嘉麻市土曜未来塾については、関係各課と連携し、生活困窮家庭の児童生徒を含め更なる参加を促します。また、個に応じた支援が展開できるよう、サポーターへの研修や指導事項の整理が必要です。家庭学習の習慣化の状況について、データで検証する必要があります。 【課題等への取組み】 嘉麻市土曜未来塾は、保護課等関係各課と連携し、生活困窮家庭の児童生徒の参加を促しました。また、学習サポーターの研修会を実施し、指導力の向上を図りました。併せて、年度末に学力向上推進員が未来塾に参加している児童生徒の学校での様子や成績の変化等情報収集し、事業効果の分析に着手しました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効果</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効率性</p>	<p></p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事務局自己評価</p>	<p>【自己評価の根拠】 嘉麻市土曜未来塾は年間40回実施できました。アンケートから児童生徒が未来塾に来て学習できてよかったと答えたり、学校から未来塾の価値が認知されたり、事業成果は着実に上がっています。また、土曜未来塾で学ぶ児童生徒の様子が、運営にあたる5名の学力向上推進員の学校への指導と関連付けられ、効果的な教育活動を展開できる土壌が培われています。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>嘉麻市土曜未来塾については、更なる事業広報と成果の分析を進め、学校外補習学習事業との関連も含め、学校教育と放課後等の学習活動を連続して捉えた学力向上方策を検討していきます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>嘉麻市土曜未来塾について、関係各課と連携し、生活困窮家庭の児童生徒を含め更なる参加を促します。また、学校外補習事業との関連も整理する必要があります。併せて、家庭へのアンケート調査を実施し、家庭学習の習慣化に向けた検証を行う必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかる授業、楽しい授業、校内外補習をしっかりとってください。 ・土曜未来塾は発展させてください。 					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>	<p>A</p>		
<p></p>		<p>(前回)</p>	<p>(A)</p>		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(1) 子どものニーズに応じる教育の充実

事業名 (予算/決算)	[6] 特別支援教育総合推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) ※健康課：発達支援連携協議会事業費にて小学校分を予算化 (予算：960千円 / 決算：685千円)				
目的	保育所(園)・幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における特別支援教育を総合的に推進することです。				
事業内容	巡回相談や個別の教育相談の実施等、発達障がいを含む障がいのある幼児児童生徒を支援しました。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 早期からの支援体制構築のために、嘉麻市として様々な取組みを進めていますが、学校と共通理解できていない部分があります。支援の接続を円滑にし、適切な支援が途切れなくできていくように、共通理解を図る場の設定が必要です。 【課題等への取組み】 支援の接続を円滑にするため、就学児に関する情報提供の時期を3学期から夏季休業中に早めました。そして「特別支援教育コーディネーター連絡会」の回数を1回増やし、その回に充てました。また、研修の機能も持たせ、就学前の健康課の取組みや巡回相談における課題等について伝え、研修を行いました。 教育センターに就学相談窓口を設置し、健康課と協働して、周知のチラシの作成・配布を行いました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
	【自己評価の根拠】 特別支援教育コーディネーター連絡会を2回に増やしたことで、学校への情報提供の時期が早まり、学校が保育所や幼稚園へ働きかけたり、受け入れ準備をしたりする時間的な確保ができました。「かまっこすくすくファイル」の活用についての共通理解、リーフレットの全戸配布、就学相談窓口の設置と周知等、早期からの支援体制が構築されてきました。小学校巡回相談を通して、適切な支援や指導に向かうことができました。				
今後の方向性	特別支援を要する幼児・児童の早期発見・早期対応に努め、巡回相談の充実や市教育センターの就学相談窓口の機能化を図ります。健康課、こども育成課との連携を密にし、合理的配慮の提供を充実させます。				
平成30年度の課題	途切れない支援が行われるように、就学相談窓口の機能化を図ります。また、個に応じた支援が行われるために、巡回相談の実施による個別の指導計画の充実や特別支援教育に係る共通理解を進めます。				
【評価委員の意見】 ・各種相談窓口の拡大と充実は、子どもたちにとっては幸せです。更に広げてほしいです。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(1) 子どものニーズに応じる教育の充実

事業名 (予算/決算)	[7] 補助教員配置事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：92,738千円 / 決算：90,504千円)				
目的	特別支援教育充実のための補助教員、介助員、支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた教育条件の整備を図ります。				
事業内容	特別支援教育補助教員、特別支援学級介助員、特別支援学級支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育を行いました。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 合理的配慮の提供の必要性が、今後ますます増えていくことが予想されます。配置した人員の効果的な活用について、工夫していく必要があります。また、個別の指導計画に基づき、通常学級と支援学級との連携した支援ができるよう指導助言します。</p> <p>【課題等への取組み】 教育的ニーズに対応するため、補助教員、介助員、支援員を配置しました。支援の実際を充実させるために嘉麻市教育センター主管で補助教員、介助員、支援員を対象に研修会を実施しました。個別の指導計画に基づく支援の提供について指導助言を行ってきました。</p>				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
<p>【自己評価の根拠】 特別支援学級に該当しない発達障がいのある児童生徒、通常学級に在籍する支援を要する児童生徒、病気等により日常生活全般及び一部において見守りが必要な児童の支援のために、補助教員19名、特別支援学級には、介助員2名、支援員22名を配置し、子ども一人ひとりのニーズに応じた教育支援を実施しました。</p> <p>個別の指導計画に基づく支援の適切化に向けて、状況把握と評価・改善状況に応じた指導助言を充実させていく必要があります。</p>					
今後の方向性	補助教員等の配置により、教育的ニーズに対応した支援ができています。このことは、特別な支援を必要としない児童生徒との良好な人間関係づくりにも役立っています。インクルーシブ教育システムの構築に向け、適切な支援ができるように努めていきます。				
平成30年度の課題	配置した人材が、各学校の状況に応じて適切に活用されているかを把握し、特別な支援を要する児童生徒に、合理的配慮が適切に提供されているか、効果的な運用ができているかを指導します。				
<p>【評価委員の意見】 ・非常に優遇された教育環境にあることは嬉しいことです。こんなにたくさんの補助教員を配置した教育委員会に敬意を表します。</p>					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[8] 英語コミュニケーション能力の育成事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：23,235千円 / 決算：23,188千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>言語や文化についての体験的理解を深め、英語によるコミュニケーション能力を養い国際感覚を身に付けさせることです。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>国際的な共通語として、英語によるコミュニケーション能力の育成や文化についての体験的理解を深めることを目的として、ALT(外国語指導助手)の活用による外国語活動の充実を図ります。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 教職員が主となる授業展開とALTの専門性を活用した授業を行うことにより、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を図るとともに、教職員の指導力向上に取り組む必要があります。教科化に向けた計画を進めます。 【課題等への取組み】 各月末に契約先と情報交換を重ね、指導の状況や課題について協議することで、英語力向上に係る学習指導方針を共有しました。また、嘉麻市教育センター主管研修を実施しました。 教科化に向けて、平成30年度の外国語活動のカリキュラム作成に向けて資料提供と指導助言を行いました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効果</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効率性</p>	<p></p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事務局自己評価</p>	<p>【自己評価の根拠】 ALTを各中学校区に1名配置し、小中学校における外国語教育の充実を図ることができました。ALTとのTT(チームティーチング)による授業により、楽しく学べる授業づくりができています。 研修の効果もあり、外国語活動の授業イメージが共有でき、平成30年度のカリキュラム作成も円滑に進みました。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>児童生徒の英語コミュニケーション能力を育成するために、教職員の指導力向上に取り組む、ALTを効果的に活用した授業を充実させます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>平成32年度の教科化に向けて、移行期をスムーズに渡れるように、ALTの効果的な活用場面と方法を工夫していきます。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・日本人の英語でのコミュニケーションは世界でも劣っているそうです。ALTを各学校に入れて指導・交流することは有意義です。今以上にALTの効果的活用を考えてください。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
<p></p>		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[9] 情報教育推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：4,692千円 / 決算：4,472千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>児童生徒がコンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的かつ適切に活用できるようにするため、情報教育の充実を図ります。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>嘉麻市教育センターに情報教育推進ICT支援員2名を配置し、児童生徒の発達段階に応じた情報活用能力の育成、情報モラル教育を行います。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 教職員のスキルアップや情報モラルに関する認識を深めるための研修が必要です。また、段階的にリテラシーを高めていくことのできる指導過程の見直しが必要です。 【課題等への取組み】 情報教育推進ICT支援員2名を配置し、ICTを活用した授業改善、校務の電算化を推進しました。また、教職員に向けた研修を通して、情報モラルに関する内容やスキルアップ等の支援をしました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 教職員に向けた研修において、新学習指導要領の内容であるプログラミング教育や情報モラルに関する内容を含めたことで、これからの情報教育について意識を高めることができました。また、スキルアップのための支援を必要に応じて行うことができました。しかし、各学校において情報活用実践力や情報モラル等の児童生徒が習得する目標の見直しが進んでいないところがあります。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>各学校における思考を促す情報機器を活用した授業づくりや、教職員の情報教育に関する意識の向上が図られてきました。今後は、新学習指導要領にそった情報カリキュラムに基づいた支援や、児童生徒の習得する目標の見直しの支援をします。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>新学習指導要領の内容を具体化した授業づくりを目指して、授業を伴った研修会や情報モラル等に関する研修会が必要です。また、児童生徒が情報手段を適切に活用するために、習得する内容の見直しが必要です。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

事業名 (予算/決算)	[10] 情報教育施設整備事業 (学校教育課：管理係) (予算：58,047千円 / 決算：58,042千円)				
目的	コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報手段を積極的かつ適切に活用できるように、情報教育を行うための情報機器の整備・維持管理を図ります。				
事業内容	市内小・中・高等学校(14校)のPC教室、校務用PCのリース及びPC教室、校務用PC、教育用PCの保守を行い、情報教育の充実を図ります。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 平成24年度導入の大隈城山校PC教室のリプレイスを行います。</p> <p>【課題等への取組み】 これまで発生していたPC環境上の問題点を解決するため、機器の選定及び環境設定の変更を行いました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 PC教室のリプレイス以降、障害発生の事案等もなく、順調に授業が進行しています。 また、平成22年度導入の小中学校の情報機器については、老朽化が進んでおり、今後の整備方針について検討を行いました。					
今後の方向性	市内小中学校のPC教室のリプレイスを平成31年度までに行う必要があります。また、市内小中学校の教育用情報機器について、効率的な整備計画を策定する必要があります。				
平成30年度の課題	今後の情報教育についての協議を行うために、嘉麻市学校情報機器整備計画検討会議を設置します。				
【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(2) 社会の変化に対応する教育の充実

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[11] 持続可能な社会を実現する環境教育の推進 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：－)</p>				
<p>目的</p>	<p>身近な環境や環境問題に興味、関心を持ち、人間活動と環境の関わりについて総合的な理解と認識を育成します。また、環境の保全に配慮した望ましい働きかけのできる技術や思考力、判断力を身に付け、よりよい環境の創造活動に主体的に参加し、環境に対し責任ある行動を取る能力を育成します。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>郷土を愛する心を育てるため、小中学校で体験活動を重視した地元の良さに気づき、その環境に触れる教育を推進します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 「郷土を愛する人材育成」の全体構想の共通理解を進めます。また、昨年度蓄積したモデルを実践化するとともに、新たな学習モデルを作成します。 【課題等への取組み】 「郷土を愛する人材育成」の構想について、共通理解を進め検証を可能にするために、構想の周知と検証項目の再検討を行いました。また、授業モデルの実践化について進捗状況を把握し、指導助言を行いました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 「郷土を愛する人材育成」の全体構想について、校長会議や主幹教諭研修会において共通理解を図りました。授業モデルに基づく授業実践が全校で実施されています。特に、これまで学習内容が薄かった中学校についても、地域のクリーンアップ活動を中心として活動が展開され、学校間での情報交換の機会も持つことができました。 環境課と連携し、市内小学生のポスターを看板にして設置する等の取組みを継続しました。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>嘉麻市の自然環境に触れ、郷土に愛着を持ち、嘉麻市に定住する、または、一旦は嘉麻市を離れても将来戻ってくる人材を育成します。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>身近な環境や環境問題に興味、関心を持ち、地域に働きかける授業づくりを進めます。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・「自分の郷土をもっと知ろう」と日々の授業を組み立てる教師の意欲はどうか。授業時数で取り上げにくい面もあり、工夫が必要です。意欲ある教師の出現を願います。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(3) 信頼される教員の確保と研修の充実

事業名 (予算/決算)	[12] 嘉麻市教育センター研修推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：150千円 / 決算：91千円)				
目的	嘉麻市教育センターを中心に、市の課題に応じた教職員及び教育研究団体等の教育研究を奨励するとともに、若年層の指導技術向上、教職員の資質向上に努めます。				
事業内容	教職員研修、講師等対象研修、専門研修の実施、校内研修等における指導助言を行います。また、教職員の資質向上を目的とした教育論文の応募を推奨します。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 今年度も若年講師に対する研修を充実させます。また、授業改善に向けた校内研修が活発化するよう指導助言を行います。道徳と英語の教科化に向けて、理論と実践をつなぐ研修内容を工夫します。さらに、中学校教科研究会を充実させ、中学校における授業力向上に努めます。 【課題等への取組み】 講師等対象研修会において、学力向上推進員が講義とグループ別協議を年間3回行い、児童生徒理解や支援について指導助言をしました。また、外国語教育研修会において、教科化に向けて実践発表を取り入れた研修を実施しました。そして、中学校教科研究会において、授業観察後の協議会では嘉麻市の取組みである「かく活動」の位置付けと内容について指導助言を行いました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
	【自己評価の根拠】 嘉麻市教育センターに指導主事を配置し、教職員研修等の充実に努めました。また、教職員のキャリアや学校からのニーズに応じて、指導助言も合わせて行いました。平成29年度は、学校訪問件数111回の指導主事派遣により、計画的・継続的な教職員の実践的指導力の向上に取り組むことができ、中学校においても授業改善に対する意識が高まっています。しかし、今後も若年教員の増加が予想されることから、継続した指導・支援が必要です。				
今後の方向性	講師等対象研修会の内容は、アンケート結果からも対象者のニーズに応じることができています。今後さらに、キャリアステージに応じた研修や新学習指導要領の改訂に対応する研修の充実を図る必要があります。また、講師や若年層を対象として、服務規律の徹底を図る研修を実施します。				
平成30年度の課題	新学習指導要領の改訂に対応する外国語教育と道徳教育の研修会は、授業イメージを持ってもらうために、授業を伴う研修会とします。また、キャリアステージに応じて求められる資質・能力を明確にした指導助言をします。				
【評価委員の意見】 ・教育センターの任務は重要です。各学校への指導と支援を望みます。 ・他の市にないセンターです。十分な活躍を希望します。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(3) 信頼される教員の確保と研修の充実

事業名 (予算/決算)	[13] 教職員人事配置事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：-)				
目的	学校・地域の実態や課題に即した人事配置を実施し、各学校の教育活動の活性化を推進します。				
事業内容	学校・地域の実態や課題を踏まえ、学校間格差をなくす人事配置を実施しました。また、小中連携の観点から、小中学校の人事交流も行いました。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 学校の活性化や特色ある学校づくりに対応できる長期的な展望による人事配置が必要です。 【課題等への取組み】 各学校の実態・課題を把握し、学校格差をなくす適切な人事配置を第一に、人事ヒアリングを定期的に行いました。また、同一校での長期勤務の教職員の計画的な人事配置を行いました。				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
今後の方向性	【自己評価の根拠】 年齢構成や指導力量に配慮した人事配置を実施しました。また、定数欠や教科欠にならないよう、学校の実態を把握しながら、きめ細かな人事配置を行いました。しかしながら、教員の指導力に格差があり、学校の実態に即した配置が十分とは言えない状況がありました。				
今後の方向性	各学校の実態に即し、年齢構成や指導力量に配慮した人事配置を実施していきます。さらに、大量退職、大量採用に係る状況を考えながら、初任者や若年層教員の人事配置を実施していかなければなりません。				
平成30年度の課題	各学校の実態・課題を把握し、学校格差をなくす適切な人事配置を第一に、人事ヒアリングを定期的に行いながら、きめ細かな人事配置に努めます。また、同一校での長期勤務の教職員の計画的な人事配置も行います。人材の育成も課題となっており、長期的な展望による人事の適正な配置を目指します。				
【評価委員の意見】 ・計画どおりにやってください。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(4) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算/決算)	[14] 学校防犯体制整備事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：9,403千円 / 決算：9,255千円)				
目的	児童生徒の安全管理のため、学校安全に関する取組みの充実を図ります。				
事業内容	学校支援専門員(警察OB)を配置し、警察等関係機関と連携して生徒指導上の支援を行っています。スクールガードリーダーによる校内外の定期的な巡回や見守り、安全マップの作成、防犯メールの配信により、学校の安全体制の整備充実を図りました。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 様々な生徒指導上の問題に対して、迅速かつ適切に対応します。また、不審者情報の周知徹底や防犯メールの配信により、地域の防犯意識を高めます。連携を強化した対応を継続します。 【課題等への取組み】 学校支援専門員と学校との密な連携、スクールガードリーダーや地域ボランティアによる通学路での安全指導を行いました。また、不審者情報に対応し、該当地域の巡回を強化しました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
【自己評価の根拠】 生徒指導上の諸問題では、学校支援専門員と警察等関係機関とが連携することにより、非行・問題行動の未然防止及び迅速な対応ができました。また、スクールガードリーダーの配置、地域ボランティア、防犯メールの全校実施により、学校防犯体制の整備が進んでいます。 不審者事案が発生した場合は、学校支援専門員と警察が連携して、巡回等を強化し、深刻な事態に発展しないよう対応しています。					
今後の方向性	学校と学校支援専門員と警察等関係機関との連携強化を継続し、様々な生徒指導上の問題の対応を進めます。また、今後も「事件・事故の発生件数『0(ゼロ)』!」を目標に、定期的な通学路の安全点検、危険箇所の改善要望の継続、安心メール等による不審者事案への早期対応を行い、児童生徒の登下校の安全確保に努めます。				
平成30年度の課題	生徒指導上の諸問題に対応する体制の点検を随時行い、迅速かつ適切な対応が維持できるようにします。また、不審者情報や防犯メールの配信、「通学路安全推進会議」等で地域の防犯意識高め、児童生徒の安全確保に努めます。 学校においては、マニュアルの共通理解を徹底させ、特に不審者の侵入を未然防止するよう指導します。				
【評価委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・日常的に外来者の来訪にどう対応するか、共通理解しておくことが必要です。通学路の安全点検は更に大切です。年に3回は実施してほしいです。 ・不審者情報については、青パトの方には早く情報提供してください。 					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(4) 安心して学べる学校づくりの推進

事業名 (予算/決算)	[15] 通学対策事業 (学校教育課：教務係) (予算：44,021千円 決算：41,299千円)				
目的	学校の統廃合に伴い、遠距離通学することになった児童生徒の通学費の負担を軽減します。				
事業内容	学校の統廃合に伴い、遠距離通学することになった児童生徒の通学費の負担を軽減するため、通学費の補助、スクールバスの運行を行っています。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 遠距離通学する児童生徒の安全確保と保護者の通学費の負担を軽減することや、通学路等の実態に合わせたスクールバス運行の見直しを行う必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 バスの定期券の購入費用の補助、スクールバス運行による児童生徒の送迎及び通学路等について、学校及び保護者と協議を行いました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
今後の方向性	今後も遠距離通学している児童生徒のバス定期券購入費用の補助を100%実施します。また、嘉穂小学校と嘉穂中学校のスクールバスによる送迎も行います。スクールバスについては、その運用方法について継続した協議が必要となります。				
平成30年度の課題	稲築西小学校と嘉穂中学校に通学する児童生徒のうち、遠距離通学している児童生徒のバス定期券の購入費用の補助を行います。嘉穂中学校の通学路等について、引き続き学校及び保護者と協議を行い、実態に応じた見直し等を行う必要があります。				
【評価委員の意見】 ・通学費の負担ゼロは必要です。そのためのスクールバス配置は当然です。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(5) 学校施設整備の推進

事業名 (予算/決算)	[16] 学校施設維持管理業務事業 (学校教育課：管理係) (予算：167,412千円 / 決算：159,107千円)				
目的	すべての児童生徒が安心・安全な環境において、生活（学習）ができるよう、小中学校の補修、修繕、草刈等環境整備を実施し、施設維持の管理を行います。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校13校（小学校8校、中学校5校）の施設整備及び維持管理 ・施設維持管理業務委託（草刈、清掃、樹木剪定、浄化槽維持管理等） 				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 安心・安全な教育環境を維持するために、緊急性を要するものから施設の整備を行います。</p> <p>【課題等への取組み】 プール内部の塗装劣化のため、下山田小学校プール塗装改修工事を行い、安全性の確保に努めました。また、小中学校施設点検業務により、劣化度の高い稲築中学校体育館床改修工事、碓井中学校消防設備改修工事を行いました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
【自己評価の根拠】 緊急性を要するものから随時修繕工事等の対応を行い、安全性の確保に努めました。また、その他の施設管理委託業務においても、快適な施設管理の維持のため、適正な予算執行を行いました。					
今後の方向性	引き続き安心・安全な環境整備及び維持管理を行っていきます。また、各学校の維持補修工事の要望により、緊急性の高いものから施設の整備を進めていきます。				
平成30年度の課題	安心・安全な教育環境を維持するため、緊急性を要するものから施設の整備を行います。				
【評価委員の意見】 ・整備計画どおり実施し、教育環境の充実に努めてください。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(5) 学校施設整備の推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[17] 大隈城山校維持管理事業 (学校教育課：管理係) (予算：15,324千円 / 決算：13,951千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>すべての生徒が安心・安全な環境において生活(学習)ができるよう、校舎等の適切な維持管理を行い、教育環境の整備を図ります。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>大隈城山校の施設整備及び維持管理(建築年度：昭和61年度)</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 年次計画的に老朽化した施設の整備を図る必要があります。また、適正な予算執行を図ります。 【課題等への取組み】 浄化槽ポンプ修繕を行うとともに、清掃業者や浄化槽維持管理業務等を適切に実施しました。また、学校と連携を図りながら、適正な予算執行に努めました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>	<p>○</p>			
<p>今後の方向性</p>	<p>生徒が安心・安全な環境で学習に臨めるよう、教育環境の整備を実施します。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>建築から30年が経過しており、経年劣化等による補修箇所があるため、引き続き年次計画的に施設の整備を図る必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(5) 学校施設整備の推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[18] 大規模改造成事事業 (学校教育課：教育企画係) (予算：58,005千円 / 決算：58,003千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>老朽化した学校施設を改修することにより、安全性、耐久性を向上し、児童生徒が安全・安心な環境において生活(学習)できるよう改修工事を行います。</p>				
<p>事業内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲築西小学校大規模改造成事実施設計業務委託 ・ 熊ヶ畑小学校大規模改造成事実施設計業務委託 ・ 牛隈小学校グラウンド測量補修設計業務委託 ・ 稲築東中学校屋根防水改修工事 				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 安全・安心な教育環境を維持するため、緊急性・必要性を要するものから順次施設の整備を行います。</p> <p>【課題等への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 熊ヶ畑小学校大規模改造成事実施設計業務委託及び牛隈小学校運動場測量補修設計業務委託につきましては、安全・安心な教育環境の整備及び多様な教育に対応可能な施設整備の両面に配慮しながら実施設計業務を進めました。 ・ 稲築西小学校大規模改造成事実施設計業務委託につきましては、嘉麻市学校施設整備基本計画の見直しのため、必要最小限の改修内容に留めました。 ・ 稲築東中学校屋根防水改修工事を行い、安全・安心な教育環境の確保に努めました。 				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 本事業は、老朽化した施設が多い本市において、安全・安心な教育環境を整備するために重要であり、大規模改修工事を実施した学校については、児童生徒の安全・安心の確保、施設管理の効率化及び児童生徒の生活態度の変化など幅広い効果が報告されています。 今後も、老朽化した学校施設の計画的な大規模改修工事は必要と考えます。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>学校施設の老朽化や児童生徒数の減少等、学校を取り巻く環境は刻々と変化しており、平成29年度から施設の整備計画の見直しに着手しました。 今後は、学校施設整備事業として施設整備を進めていきます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>学校施設整備事業として、引き続き安全・安心な教育環境を維持するため、緊急性・必要性を要するものから順次施設の整備を行います。 平成30年度は、学校施設整備事業として碓井中学校区と稲築中学校区の施設整備計画に着手します。また、上山田小学校と嘉穂中学校体育館では大規模改修工事前調査を行い、安全・安心な教育環境の整備及び多様な教育に対応可能な施設整備の両面に配慮しながら学校施設整備事業を進めていきます。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・ 熊ヶ畑小学校は災害に遭っているが、30年度の課題に上げなくていいのでしょうか。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(6) 地域に開かれた学校づくりの推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[19] 学校関係者評価事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：529千円 / 決算：203千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>教育活動等の成果の検証とその客観性・透明性の確保を通じて、学校経営の改善と発展を目指します。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>保護者、地域住民等の連携強化のために学校関係者評価を全校で実施し、評価結果を公表しています。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 適正な学校関係者評価及び学校評価結果、改善策について、学校ホームページ及び学校だよりや保護者会等で確実に公表します。 【課題等への取組み】 学校関係者評価を全校で実施し、学校ホームページ、学校だより、保護者会等で公表するよう校長会議で指導するとともに、公表作業が円滑に進むよう支援しました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効果</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効率性</p>	<p></p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事務局自己評価</p>	<p>【自己評価の根拠】 すべての学校で自己評価に基づく、学校関係者評価の実施・公表・報告が確実に行われました。 しかし、評価結果の公表に終わることなく、学校関係者評価委員会での意見が反映され、次年度の改善策の策定と確実な実施が重要であること認識する必要があります。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>学校運営の改善と発展を目指し、保護者や地域住民等の連携強化のために、学校関係者評価全校で実施し、評価結果をホームページ等で公表します。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>学校関係者評価委員会での意見が適切に反映された改善策となり、確実に実行されているかどうかについて継続的に指導します。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・評価結果を公民館などの公共施設で見れるようにしてほしいです。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(6) 地域に開かれた学校づくりの推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[20] 学校開放事務事業 (学校教育課：管理係) (予算：251千円 / 決算：223千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>生涯学習社会における文化、スポーツ等の地域活動の場として、学校施設を開放することにより、地域住民の生涯学習の推進を図ります。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>学校教育に支障のない限りにおいて、市内小・中学校13校(小学校8校、中学校5校)の体育館及び運動場等の施設を開放します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 現状の課題解決のため、学校開放に関する例規改正を行う必要があります。 【課題等への取組み】 嘉麻市立学校施設開放に関する条例及び施行規則並びに、嘉麻市立学校開放施設使用料の減免に関する要綱の見直しを行いました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>				
	<p>事業の必要性</p>	<p>A</p> <p>○</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 これまで、旧自治体ごとの学校開放対象施設の統一及び学校開放施設使用料の減免対象団体の定義の見直しを行いました。 市内の社会体育施設数の減少により、学校体育施設の利用団体数が増加したため、青少年育成団体の定義について見直しを行い、市内在住の児童生徒が構成員の過半数を満たす団体を減免の要件としました。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>引き続き学校施設を開放し、地域住民の生涯学習の推進に努めます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>今後は、各利用団体の学校施設開放に関する利用規定を整備する必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・学校を市民に開放することは大切ですが、学校教育に支障がないようルールを決め、後の整理をきちんとして帰ってほしいです。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(7) 小中連携教育への取組み

事業名 (予算/決算)	[21] 小中連携教育等基本方針作成事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：-)				
目的	義務教育9年間を通して、系統的、継続的な学習指導や生徒指導を行い、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育むために、小中学校の校区型の小中連携事業を基本に推進し、小中学校すべての教職員による協働体制を整え、協働実践を行います。				
事業内容	小中連携教育等基本方針を作成し、必要に応じモデル校による実施を行います。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 先進地視察等を通して、小中連携及び小中一貫教育の嘉麻市内でのあり方を研究し、小中連携教育等基本方針を作成する必要があります。また、モデル校を市の研究指定校とし、検証を行います。 【課題等への取組み】 小中連携・一貫教育研究事業の実践校の取組みの検証を行います。また、小中連携教育の推進について、主管研修の内容に盛り込みます。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性			○	
【自己評価の根拠】 小中一体型校舎の施設整備計画や小中連携・一貫教育研究事業の推進等、小中連携教育と関連する事業間の整理が不十分でした。先進地視察等を重ねながら、本市に合った小中連携教育の検討を行う必要があります。					
今後の方向性	小中一体型校舎の施設整備計画の進捗状況に合わせ、小中連携教育の推進を各中学校区で具体的に進めていく必要があります。また、教員による小中連携に係る先進地視察を実施します。				
平成30年度の課題	各中学校区で授業交流、職員間の交流を実施し、校区の取組みを具体化していくよう指導します。				
【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(C)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(7) 小中連携教育への取組み

事業名 (予算/決算)	[22] 小中連携・一貫教育研究事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：-)				
目的	研究開発校や構造改革特区における小中一貫教育の取組みの成果を踏まえ、カリキュラム区分の弾力化など小中学校間の連携・接続を改善するための仕組みについて、種々の観点に配慮しつつ十分に研究していきます。また、小中学校間の教職員の人事交流や共同研究、小中連携した学力向上の取組み、生徒指導の連携などを図ります。				
事業内容	小中学校間の教職員の人事交流や共同研究を通して、小中連携を推進しています。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 小中連携・一貫教育研究事業が今年で2年目となります。このことも一つの糸口としてモデル校の検証を進めます。校区としての取組みづくりをさらに意識化できるよう、研修の際にもグルーピングを工夫します。 【課題等への取組み】 教頭協議会研修会や主幹教諭研修会で校区間連携を推進する内容の研修を行いました。各校区では、連携の具体化に向けた調整を行うように指導しました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 小中連携に関しての共通理解や共通実践が十分ではありません。研究指定校の発表を契機に中学校区毎に取組みを推進する組織の活性化を行い、児童生徒の実態交流や学力向上に関する取組みの協議、生徒指導の取組みの共有等をさらに進める必要があります。					
今後の方向性	小中一体型校舎の施設整備計画が具体化してきています。該当校だけではなく、5中学校区が小中連携の重要性の認識をこれまで以上に高く持ち、具体的な実践につなげられるように、今後も継続して取組みます。				
平成30年度の課題	教頭協議会研修会や主幹教諭研修会での研修内容の充実や指導の充実を図るとともに、小中一体型校舎の施設整備計画を契機とした小中連携の取組みの推進を行います。また、先進地視察等を通して、小中連携・小中一貫教育の情報収集を行います。				
【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。					
教育委員会評価	今回		B		
	(前回)		(B)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(8) 教育の機会均等の促進

事業名 (予算/決算)	[23] 就学援助事業 (学校教育課：教務係) (予算：99,613千円 / 決算：94,780千円)				
目的	学校教育法第19条に、「経済的理由によって、就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対しては、市町村は、必要な援助を与えなければならない。」と規定されており、経済的理由により就学困難な児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、教育費の一部を援助します。				
事業内容	経済的理由により就学困難な児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に対し、教育費の一部を援助します。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 経済的理由により就学困難な児童生徒の支援を最優先とするため、必要な援助を適切な時期に実施するための基準の見直しが必要です。 【課題等への取組み】 就学困難な児童生徒の支援を最優先とした適正な基準の見直しを行いました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
【自己評価の根拠】 経済的理由により就学困難な児童生徒及び特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の申請に対し、学用品費、給食費、修学旅行費等の教育費の一部を援助することができました。また、新入学児童生徒の保護者の申請に対し、入学準備に必要な制服等を一部援助する学用品費を入学式前に援助することができました。					
今後の方向性	今後も継続して該当児童生徒への援助と本事業の広報等の情報発信による周知を行っていきます。また、実態に応じた援助方法について必要に応じて検討します。				
平成30年度の課題	経済的理由により就学困難な児童生徒の支援を最優先とするため、実情に応じた支援を行います。				
【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

(8) 教育の機会均等の促進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[24] 奨学金事業 (学校教育課：教育総務係) (予算：21,507千円 / 決算：21,463千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>嘉麻市独自の奨学金制度により、高等学校や大学等に進学、修学するための奨学金を貸し付け、経済的理由による修学困難者の軽減を図ります。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>嘉麻市奨学資金貸付及び返還に関する業務 (貸与中の人数：42人) (返還中の人数：200人)</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 返還金徴収率の向上に努めるとともに、滞納を未然に防止する措置を実施します。 【課題等への取組み】 滞納者に催告状を送付し、納付相談等を行い、徴収率の向上に努めました。口座振替制度の推進についても、継続して行っています。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>			<p>○</p>	
<p>【自己評価の根拠】 奨学金制度を「広報嘉麻」、ホームページに掲載し、中学校・高等学校にも周知を行い、新規に13名の貸付を行いました。 返還事務については、9月に51件、2月に42件の催告状を送付しました。嘉麻市奨学金返還の収納率は、平成29年度におきましては、家庭状況等の調査を行い、納付相談を行いました。現年度85.54%で、平成28年度と比較すると2.79ポイント下降しました。しかしながら、過年度は10.07%であり、1.76ポイント上昇しました。引き続き口座振替の推進及び家庭状況等の調査を実施し、新たな滞納者を生まない取組みを続けていきます。 また、奨学金制度自体の見直しも必要であると考えておりますので、調査等実施していきたいと考えております。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>修学困難者の負担軽減の点からも事業を継続し、返還事務につきましては、家庭状況調査を実施し、徴収率の向上を図ります。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>現年度返還金徴収率90%を目指し、家庭状況の調査を実施する等、滞納を未然に防ぐための措置を実施します。また、経済的理由での就学困難者の軽減を図るため、奨学金制度の見直しの検討が必要と考えます。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・返還が滞ることは残念です。滞納が少なくなるように頑張ってもらいたいです。返還は大変なので、支給（給付）型にならないでしょうか。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算/決算)	[25] 道徳教育推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：-)				
目的	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図りながら、豊かな自然・社会体験を通して児童生徒の内面に根差した道徳性の育成を図ります。				
事業内容	学校における道徳の時間の充実を図るとともに、家庭や地域社会との連携を図ります。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 道徳科のカリキュラムや評価の基準づくり、「考え、論議する」道徳科学習指導の在り方等について、主幹教諭研修会で方向性と実践モデルを示し、共通理解を図ります。本年度は、稲築東小学校が道徳で研究発表を行うため、その場を有効に活用して進めます。</p> <p>【課題等への取組み】 主幹教諭研修会では、道徳科完全実施に向けたカリキュラムづくり等についての方向性を示しました。また、初任者研修等において、「考え、議論する道徳」を目指し、改訂で示された部分についての説明を行い、授業づくりについて指導助言を行いました。そして稲築東小学校が道徳で研究発表を行い、市内の小中学校から多くの参加者があり、授業のイメージを共有することができました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 各小中学校ともに、年間35時間（小1は34時間）の授業時数は確保され、年間指導計画に基づき指導されています。また、初任者研修における授業研修では、学校の道徳教育の重点目標を押さえながら教材研究を行い、授業を実施することができました。さらに、研究発表校である稲築東小学校では、体験活動と関連させた道徳の授業づくりを学校全体で協働的に進められていました。しかし、市全体では道徳の授業づくりに対する理解がまだ不十分です。					
今後の方向性	中学校の新学習指導要領完全実施に向け、今後も道徳科の授業をイメージできるように、授業観察を伴った研修を実施します。				
平成30年度の課題	小学校主幹教諭研修会では評価についてのモデルを提示し、共通理解を図ります。また、道徳教育研修会では道徳教育推進教師と担任を対象に、授業を伴った研修を実施し、授業イメージを持つことと、組織的に道徳教育を推進していくことの理解を図ります。				
【評価委員の意見】 ・各学校の研究に期待します。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算/決算)	[26] キャリア教育推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：243千円 / 決算：110千円)				
目的	家庭や地域と連携して、職業・職場体験活動等を行い、児童生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、望ましい勤労観、職業観を育てます。				
事業内容	市内の小中学校において、総合的な学習の時間や特別活動等の中で、基礎的・汎用的能力を育成する教育活動を展開します。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 人間関係・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力についての共通理解を深め、授業場面への具現化をめざして指導助言を継続します。 【課題等への取組み】 職場体験学習の実施と、事前・事後学習の充実を図りました。「郷土を愛する人材育成」の実践と合わせて学習を充実させるように取組みました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 職場体験学習(2日～3日)を市内の全中学校で実施しました。その前後において、事前学習としてのマナー講習の実施や事後の振り返りにおける自己の生き方を考える学習の設定が行われ、生徒の職業観や進路選択に向けた意識に変容がみられました。 「郷土を愛する人材育成」等の授業実践を通して、地域の「ひと」との出会いから、自己の生き方を考える学習へと展開しました。					
今後の方向性	本事業は、体験的な学習活動ができること、生徒自身に職業観や労働観、自己の生き方を見つめさせることが期待できます。 郷土の良さを味わう機会としても、学習をさらに充実させていきます。				
平成30年度の課題	各学校におけるキャリア教育の年間指導計画の実施状況を把握するとともに、キャリア教育の視点の意識化が進むよう指導助言を行います。				
【評価委員の意見】 ・新しい試みであり、体験することは良いことだと思います。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(1) 道徳性と自立心を養う心の教育の充実

事業名 (予算/決算)	[27] ボランティア活動推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：-)				
目的	家庭や地域社会と連携して、児童生徒が他の人々や社会のために役立つとともに自分が価値のある存在であることを実感し、よりよく生きるための道徳的実践力の育成を図ります。				
事業内容	市内全小中学校において、ボランティア活動を計画的に実施します。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 道徳の時間との関連指導、異学年との交流、地域社会と連動した活動を進める必要があります。 【課題等への取組み】 「郷土を愛する人材育成」の授業実践にあたり、ボランティアに係る視点について指導助言したり、関連指導や異学年との交流、地域社会との連携について研修会の中で実践を交流したりしました。また、実践の前後における効果的な学習づくりについて指導助言しました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性	○			
【自己評価の根拠】 「郷土を愛する人材育成」の授業実践の中で、地域の清掃活動、河川清掃等、各学校の特色を活かしたボランティア活動を実施できました。特に、中学校において地域の方と一緒に活動したり、異学年でのグルーピングが見られたりするようになりました。また、学校通信等でボランティア活動の啓発や活動の様子を発信することができました。					
今後の方向性	これまでに取組んできたボランティア活動を温めながら、地域や家庭と連携して取組める内容へと発展させていきます。				
平成30年度の課題	「郷土を愛する人材育成」の授業実践と併せて、カリキュラムの改善ができるように、主幹教諭及び教務主任に対して指導助言します。				
【評価委員の意見】 ・ボランティア活動は素晴らしいことだと思います。夏休みを利用して、もっと活躍の場を見つけてください。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
 (2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名 (予算/決算)	[28] 学校保健事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：18,906千円 / 決算：18,558千円)				
目的	家庭、地域及び関係機関等の連携・協力により、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ります。また、事故、加害行為、災害等により、児童生徒に危険又は危害が生じた場合の対処として、災害共済に加入します。				
事業内容	児童生徒、教職員の健康診断等を実施します。また、市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置し、児童生徒の保健、安全に関する指導を行います。さらに、各学校において学校保健及び学校安全に関する年間計画を作成し、適切に実施するよう指導助言を行います。災害共済加入手続きや給付金の支払い業務を行います。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 法令に則り、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底を図ります。また、健康診断受診率が目標達成にかかる指標(100%)を達成できるよう関係機関と連携を図り、小中学校へ指導していきます。養護教諭を中心とした年間指導計画の内容の充実に向けても指導します。</p> <p>【課題等への取組み】 健康診断受診率100%を達成できるよう関係機関と連携を図り、小中学校へ指導して行きました。また、年間指導計画の内容の充実に向けた指導を行い、児童生徒及び教職員の心身両面にわたる健康管理の徹底に努めました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	【自己評価の根拠】 健康診断受診率100%を目指していますが、健康診断受診日に欠席した児童生徒全員の受診が達成できませんでした。養護教諭を中心に児童生徒の保健・安全に関する指導と保護者啓発、全教職員のストレスチェックの実施等心身両面にわたる健康管理の徹底を図りました。また、災害共済加入手続きや給付金の支払い業務を確実に処理できました。				
今後の方向性	健康診断受診の重要性を家庭に継続して啓発するとともに、児童生徒も自分自身の健康のために必要なことを学び実践できるように、各学校の学校保健年間計画の内容について指導していく必要があります。また、不登校の児童生徒の健康診断受診及び健康教育の推進について、他課と連携します。				
平成30年度の課題	健康診断受診率100%達成のために継続して周知と啓発に取り組むとともに、学校保健年間計画の見直しと検証を進めます。				
【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
(2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名 (予算/決算)	[29] 学校給食運営事業 (学校教育課：学校給食係) (予算：256,804千円 / 決算：254,441千円)				
目的	嘉麻市内小中学校で完全給食を行い、学校給食における衛生管理の徹底を図るとともに、魅力ある学校給食の充実につとめます。また、「食育」に関する授業の実施で「食事の重要性」等を身につける教育を支援します。				
事業内容	嘉麻市内全小中学校で完全給食を実施しています。衛生管理の徹底を図るために、施設の改修及び調理員を対象とした衛生管理研修を実施しています。食育に関しては、「食育の日」「食育月間」はもとより、年間を通じて学校毎に実態に応じた取組みを行っています。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 安心・安全な学校給食を実施し、更なる衛生管理の徹底を図り、食物アレルギー対応についても適切な対応を図ります。また、「食の重要性」を身につける教育の支援を行います。</p> <p>【課題等への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・碓井小学校調理場の床塗替えや上山田小学校及び牛隈小学校の調理室内のトイレ洋式化の改修を行い、さらなる衛生管理の徹底を図りました。 ・給食センター調理場にエアコンを設置し、調理作業における食中毒防止について更なる改善を図りました。 ・給食を生きた教材として、献立に則した『食育だより』を発行し、食に関する教育の支援を行いました。 ・地元直売所を活用し、地場産の利用率向上に努めました。また、地元直売所の方を講師に迎え、生産者の取組みや地場産物の活用についての知識を深めました。 				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
	<p>【自己評価の根拠】 年間給食回数を5回増やし、190回を基準に実施し、1日約3,300食の調理提供を行いました。 地産地消の推進に関しては、例年同様に地元直売所を通じ、地場産の利用に努め、地場産利用率24.3%で、前年度に比べ7.7ポイント上昇しました。</p>				
今後の方向性	安心・安全な学校給食の実施のため、職員の衛生管理意識の徹底とアレルギー対応についても適切な対応を図ります。地場産物の更なる活用に向け、地場産物への意識の向上を図ります。				
平成30年度の課題	安心・安全な学校給食を実施し、更なる衛生管理の徹底を図り、食物アレルギー対応についても適切な対応を図ります。また、「食の重要性」を身につける教育の支援を行います。また、地場産利用率については30%を目指します。				
<p>【評価委員の意見】 ・地場産利用は賛成です。食育も大切です。</p>					
教育委員会評価		今回	A		
		(前回)	(B)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
 (2) 健やかな心身をはぐくむ健康教育の充実

事業名 (予算/決算)	[30] 学校給食費算定及び収納事業 (学校教育課：学校給食係) (予算：398千円 / 決算：322千円)				
目的	学校給食費は、賄材料費の購入に要する経費のみを保護者負担としており、安心・安全な食材の購入等を行うための算定を行います。 また、受益者負担の公平性を確保するために、徴収業務を行います。				
事業内容	栄養バランスのとれた食材の購入ができるよう予算管理を行っています。 受益者負担の公平性を確保するため、給食費徴収業務を行っています。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 受益者負担の公平性を確保するため、更なる収納率の向上を目指し、徴収業務を行います。</p> <p>【課題等への取組み】 収納率向上への取組みとして、未納通知や催告書を発送するとともに、訪問による徴収も実施しました。高額未納者に対しては、納付誓約書や児童手当からの引去りの同意書の提出により、分割納付や児童手当からの引去りを実施しています。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】 未納通知や催告書の発送、訪問徴収等収納率向上への取組みを実施しました。現年度(29年度)の収納率は98.85%で、前年度に比べて0.06ポイント上昇し、過年度の収納率は19.62%で3.59ポイント下降しました。</p>				
今後の方向性	栄養バランスのとれた安心・安全な食材の購入を行うための算定を行います。 また、受益者負担の公平性を図るため、徴収業務を行います。				
平成30年度の課題	受益者負担の公平性を確保するため、更なる収納率の向上を目指し、徴収業務を行います。				
	<p>【評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費にセンターと自校方式で金額に差があるのは問題があります。同じメニュー、同じカロリーであれば、同額であるべきです。 ・未納者への催告、徴収に更に取り組んでください。 				
教育委員会評価		今回	A		
		(前回)	(B)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(3) 家庭・地域・学校における読書活動推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[3 1] 読書活動推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：27,909千円 / 決算：27,148千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>児童生徒の学習や読書意欲を高めるため、市立図書館や嘉麻市学校図書館協議会等との連携を図りながら、学校図書館の整備や図書司書機能の充実に努めるとともに、組織的、継続的な読書活動の推進に努めます。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>図書館の管理運営、図書教育の指導補助、図書の受入れ、貸出し業務、書架の整理、廃棄業務、教科用図書関係事務等を行うため、図書司書を配置し、学校図書館の整備、充実を図っています。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 読書活動推進のために、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数を60冊以上(週2冊以上)の指標を継続し、確かな学力と豊かな心を培う必要があります。また、蔵書の整備を行い、図書司書と担任が連携し、国語科等の指導において、図書館を資料センターとして活用できるよう指導に努める必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 各小中学校に配置された13名の図書司書、学校の図書館教育担当者(司書教諭等)を中心に、読書週間の取組みや新刊図書の紹介等を工夫し、児童生徒の読書量増加に向けた学校図書館の環境整備や活用に努めました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 各小中学校の図書司書や図書館教育担当者により、図書館の整備や読書活動の充実が図られています。しかし、朝学習を充実させるため、朝読書や読み聞かせ等の読書活動の回数が十分確保できない状況から、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数は小中学校平均35冊となり、年間60冊を下回っている状態です。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>学校の状況を勘案し、児童生徒一人当たりの年間貸出冊数の指標を36冊に修正します。そして、読書の良さや家庭での読書「うちどく」を保護者に啓発する等、効果的な取組みを新たに推進する必要があります。また、蔵書を充実させ、図書館を資料センターとして授業で活用するよう指導に努めます。隙間読書についても推進します。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>資料センターとしての図書館利用の促進、家庭での読書「うちどく」の啓発等、効果的な取組みを推進していく必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・「指標36冊」は目標としては低いので、上げる努力をしてください。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(4) いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[32] 適応指導教室(れすとぴあ) 推進事業 (学校教育課:教務係・指導係) (予算:8,064千円 / 決算:8,052千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>心理的又は情緒的理由により登校できない状態にある児童生徒の学校復帰を支援し、不登校児童生徒数の減少に取り組めます。教育相談、体験学習、教科学習、集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適応できるための助言、援助を行います。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>教育相談、体験学習、教科学習、集団生活への適応指導、学校生活及び社会生活に適応できるための助言、援助を行います。</p>				
<p>平成29年度の課題と取り組み</p>	<p>【課題等】 福岡県立大学「不登校・ひきこもりサポートセンター」との連携を図り、れすとぴあ及びれすとぴあへも行くことができない児童生徒に対する学習支援を進めます。 【課題等への取り組み】 れすとぴあにも通級することができない児童生徒に対して、福岡県立大学と情報交換しながら、指導・支援の方法を検討しました。また、児童生徒の学校復帰を支援するため、集団生活への適応できるようにソーシャルスキルトレーニングを年間通して指導したり、教育相談等も実施したりしました。より指導が充実するように、学校と連携して個別の支援計画・指導計画を作成しました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効果</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効率性</p>	<p></p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>【自己評価の根拠】 れすとぴあに4名の適応指導教室指導員兼相談員を配置し、適応指導、教科指導、教育相談等を行いました。平成29度は適応指導教室(れすとぴあ)に8名の生徒が在籍しました。中学3年生は2名在籍し、完全な学校復帰はならなかったものの、適応指導教室での教科学習等の指導の結果、2名とも高校(通信制含む)へ進学しました。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>今後も不登校児童生徒を減少させるためには、学校への復帰支援や居場所づくりやその保護者が相談できる体制を整備する必要があります。また、れすとぴあにも行くことができない児童生徒に対して、訪問指導等によるアウトリーチ支援を講じ、学習の機会を提供していきます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>学習や体験学習等を通して、集団生活への適応指導を行い、チャレンジ登校を実施しながら学校復帰を目指した支援を行います。また、必要に応じて関係機関等と連携し、取り組みを進めます。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・高校進学できたことは素晴らしいことです。実績も上がっているようなので、頑張ってください。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>	<p>A</p>		
<p></p>		<p>(前回)</p>	<p>(A)</p>		

A:期待どおり、B:概ね期待どおり、C:課題あり、D:事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(4) いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[33] 教育相談推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：8,014千円 / 決算：7,418千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>いじめや不登校、暴力行為などの問題行動を起こした児童生徒に対して、専門的な知識や経験を有するスクールカウンセラー（臨床心理士）がカウンセリングを行い、スクールソーシャルワーカー（社会福祉士・精神保健福祉士）が中心となって関係機関と連携をとりながら問題解決にあたります。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>嘉麻市教育センターにスクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーを配置し、不登校等の未然防止に向けて支援を行います。また、必要に応じて、保護者や教職員等の教育相談を実施します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 児童生徒・保護者・教員等の悩みに対して、適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう学校内外の教育相談体制の充実を図り、関係機関との連携を強化する必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 いじめ・不登校の要因は複雑化しており、学校と嘉麻市教育センターが連携し、スクールカウンセラーによる教育相談、スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問や電話相談等の支援、さらに他の関係機関との連携により、いじめ・不登校の解消、未然防止に取り組みました。また、関係機関の連携や支援を図で表したチラシを作成し、入学式等の学校行事のときに配布をして周知しました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>				
<p>事業の効果</p>	<p>○</p>				
<p>事業の効率性</p>	<p>○</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【自己評価の根拠】 平成29年度の嘉麻市教育センターにおける教育相談32件あり、学校からの要請を受け、児童生徒や教職員を対象に行いました。8月からスタートした就学相談も41件あり、保護者や関係課と行いました。スクールソーシャルワーカーによる面談・相談等の件数は491件あり、学校・家庭訪問をはじめ、関係課や児童相談所等と協力しながら、問題解決にあたりました。平成29年度のいじめの認知件数は55件と、細かい見取りにより増加しています。また、不登校児童生徒数は46名（全国出現率1.35%に対して嘉麻市出現率1.6%）までに減少しました。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>必要に応じて保護者や教員等の教育相談を実施し、就学相談窓口としても相談業務を行います。今後も、学校と嘉麻市教育センターが連携し、問題行動を起こした児童生徒のカウンセリングを実施、いじめや不登校等の未然防止に向けて支援を行う必要があります。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>必要に応じて保護者や教員等の教育相談を実施し、専門的な立場で指導助言を行い、児童生徒の不登校等の未然防止を目指した支援を行います。なお、就学前の相談も行い、安心して学校生活を送れるようにします。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・多くの職員を配置し対応されており、それにより出現率が減少していることは嬉しいことです。事業の効果ありです。更なる実践を望みます。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>	<p>A</p>		
		<p>(前回)</p>	<p>(A)</p>		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(4) いじめ・不登校問題等の解決に向けた体制の充実

事業名 (予算/決算)	[34] 学校支援相談員配置事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：7,474千円 / 決算：7,432千円)				
目的	家庭にひきこもりがちな不登校児童生徒に対して、児童生徒の抱える心の問題を理解し、積極的に取組む意欲を有する訪問指導員を派遣し、ひきこもりがちな児童生徒やその保護者等の悩みや不安を解消し、適応指導教室への通級及び学校復帰を支援します。				
事業内容	不登校及び不登校傾向の児童生徒宅を訪問し、適応指導教室への通級及び学校復帰を支援します。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 不登校傾向の児童生徒への早期対応、不登校の解消・改善に積極的に取組み、不登校児童生徒数を減少させることができてきましたが、引き続き不登校傾向の児童生徒に係る課題を解決するには、関係機関との連携強化が必要です。</p> <p>【課題等への取組み】 現在学校支援相談員を3名配置し、家庭訪問等を行い、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導内容・相談を行うことで、適応指導教室への通級及び学校復帰への支援を行いました。また、不登校サポート会議やケース会議、学期ごとに福祉事務所等の関係機関との会議に出席し、情報の共有を行いました。</p>				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 現在、学校支援相談員を3名配置し、登校を促すとともに、適応指導教室への通級、学校復帰者の増加、欠席日数の減少等、不登校解消に向けての成果が出ています。特に、平成24年度までは、100名を超えていた不登校児童生徒数ですが、25年度76名、26年度77名、27年度52名、28年度49名、29年度46名と着実に減少してきています。					
今後の方向性	今後も不登校解消の取組みを組織的に行う必要があります。平成30年度までには、市内小中学校不登校児童生徒数35人以下(全国出現率以下)を目指します。また、訪問指導等によるアウトリーチ支援を行う教員と学校支援相談員とで連携し、ひきこもり児童生徒の学校復帰等の支援も必要です。				
平成30年度の課題	家庭訪問等の支援を細やかに行うことで、ひきこもりがちな児童生徒やその保護者等の悩みや不安をやわらげ、登校を促します。また、定期的に関係機関等の会議に出席し、情報共有や適切な支援になるよう検討し、連携しながら支援します。				
【評価委員の意見】 ・良い取組みです。続けてください。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算/決算)	[35] 地域教育資源活用事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：1,430千円 / 決算：1,019千円)				
目的	学習指導要領の趣旨を踏まえ、各学校の創意を生かした教育課程を編成し、地域社会の現状を踏まえ、児童生徒の学習に協力することのできる地域の人材や施設を生かし、教育活動を行います。				
事業内容	専門的な知識や経験を持っている人から話を聞いたり、技術を見せてもらったりする体験は、子どもたちの学びを深める上で大変効果的であり、地域の人材を外部講師として招き、農業体験や物づくり指導を推進します。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 「郷土を愛する人材育成」の全体構想を周知し、各学校で作成した学習展開モデルを確実に実践し、改善を図る必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 学習指導要領の改訂に伴う教育課程の編成にあたり、「郷土を愛する人材育成」の取組みの方向性や視点、資源等を主幹教諭（教務主任）研修会で提示し、改善作業を進めました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】 地域の教育資源を活用した教育活動を展開することができています。地域の特性を生かした活動の充実に向けた教材研究や教育課程の編成も徐々に進んでいます。地域で得られる経験は、児童生徒自身の今後の生き方を考える上で大変有効です。今後も継続して改善に取組み、教科や単元の目標と照らし合わせ、効果的な学習にしていく必要があります。</p>				
今後の方向性	今後も教育課程の見直し、地域資源や地域人材の活用計画の充実、学習活動の実施・評価を行うとともに、地域や家庭の教育力の向上を視野に、取組みの成果を地域や家庭に広報していく必要があります。				
平成30年度の課題	各学校で実践した学習を地域や家庭に広報し、嘉麻市として郷土を愛する人材を育成していることを周知し、地域や家庭からの協力と円滑な教育活動の好循環を生み出す必要があります。				
	<p>【評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嘉麻市には伝統・文化といった素材がたくさんあると思う。大人も子どもも知らないことが多い、ともに発見していけるように、もっと焦点を当てて、掘り下げてほしい。 ・十分活用できているでしょうか。学校が見過ごし、嫌ったりしているケースはないでしょうか。外部講師を有効に活用することも大切です。 				
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算/決算)	[36] 学社連携融合事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：個別予算なし / 決算：-)				
目的	子どもたちの総合的な健全育成と学力向上の手段として学社連携を推進するとともに、多岐にわたる学校教育の指導に地域の教育力を活用し、地域全体の教育力を高めます。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学社連携に関わる推進母体の確立 ・推進母体を中心とした意見交換会の実施 ・人材バンクを活用した学校との連携 ・事業の積極的な周知活動 ・意見交換会で出た事業の支援や各団体事業での学社連携の意識醸成 				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 懇談会の開催だけでなく、それぞれの地域が実施する活動を学校と地域の交流の場として、より良いものにするため、支援する必要があります。</p> <p>人材バンクの活用や子ども会活動についても、学校と地域が協力・連携できるよう支援する必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 子ども会や住民会議・通学合宿実行委員会等の役員が学校に出向き、それぞれの団体で実施している事業のPRを行ったり、事業を実施する際の周知や募集等を学校と連携して行うための支援を行い、地域と学校が協力し、事業を実施することができました。</p>				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 学校と子ども会や通学合宿実行委員会などの地域団体が協力し、学校の授業の中で子どもたちに地域の活動を紹介する場を設けるなど、子どもたちが地域の活動に参加するきっかけを作ることができました。また、それぞれの地域の特色に合わせた事業を継続的に実施するとともに、学校への周知や意見交換を行うことにより、地域と学校の協力体制を強くすることに繋がり、より一層地域に根差した活動を展開することができました。					
今後の方向性	地域住民や団体等のネットワークを強化し、学校と地域住民が情報交換・情報共有できるような場を設定するなど、学校と地域住民との協働活動を推進します。				
平成30年度の課題	学校と連携している事業について、地域での差がみられるので、それぞれの地域の実状に応じた支援を行っていく必要があります。				
【評価委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地域の有志・団体に働きかけを念入りに誠意をもって続けてください。 ・通学合宿は子どもにとっては良い経験になると思います。大人の意識を変えることが大切でしょう。どうすれば自分のこととして協力してもらえるかということでしょう。 					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算/決算)	[37] 家庭教育支援事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：516千円 / 決算：284千円)				
目的	子の教育について第一義的責任を有する保護者に対し、発達段階に合わせた諸問題解決のための講座等の実施や、子育てに関する情報や学習機会を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者参観、PTA行事等を活用した家庭教育に関する学習機会の提供 ・青少年関係の社会教育関係団体並びに関係機関との連携・参画 ・地域住民向けの啓発 ・子どもを取り巻くメディアが及ぼす影響やその対策等に関する啓発活動等 				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 家庭教育支援の充実を図るため、他の課・係と情報交換を行い、連携して事業を展開する必要があります。講座受講者が終了後にもグループ活動できるような支援が必要です。地域ボランティアの発掘・育成を行い、家庭教育支援事業を地域活動として定着させることが課題です。</p> <p>【課題等への取組み】 健康課などの関係課と情報共有を行い、乳幼児健診、学校・保育所等で継続してメディアの啓発活動を行うことができました。 乳幼児の保護者を対象に、保護者の教育力向上を図る8回の連続講座を実施し、受講者同士の繋がりをつくることができ、講座後も受講者同士の交流に繋がっています。 ミニプレーパーク事業において、地域ボランティアと協力しながら、事業内容の検討から実施まで行うことができるようになりました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】 親が子育てを学び、子どもたちの学ぶ場と機会を提供するための講座を実施しました。ミニプレーパーク事業では、継続して参加する地域ボランティアが少しずつ増え、より充実した事業を展開することができました。 子どもの基本的な生活習慣の確立を図るため、メディアに関する啓発活動を行いました。啓発活動の回数は、平成28年度141回を29年度201回に増やすことができ、保護者とその子どもの発達段階に合わせた情報提供を行うことができました。</p>				
今後の方向性	子育て家庭の孤立を防ぐとともに、子育て中の親子が出会い、繋がる場をつくることで、子育ての不安などの解消に繋げるとともに、地域の人たちとのつながりをつくることで、地域ぐるみで子育て家庭を支援する体制づくりを推進します。				
平成30年度の課題	産後の早い段階で親が復職する家庭が増え、講座の参加者が減少傾向にあるので、参加しやすい講座の実施方法や、参加したいと思われる内容等の検討を行っていく必要があります。また、ミニプレーパーク事業では、地域ボランティアの意見を考慮しながら、事業を展開していく必要があります。				
【評価委員の意見】					
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の多忙、余裕のない経済事情で、家庭教育まで手が届かないのが現実ではないでしょうか。親の意識を変える取組み、方法を考える必要があると思います。 					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(5) 家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実

事業名 (予算/決算)	[38] 青少年健全育成事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：1,686千円 / 決算：1,497千円)				
目的	総合的な青少年の健全育成のための活動並びに関係機関との連携を強化します。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 青少年の悩みや相談に、電話や直接対応できるよう嘉麻市教育センターと連携し相談体制の充実を図ります。 ・ 少年補導委員が効率的に活動できるよう支援を行なうとともに、嘉麻市教育センターと連携し、定期的に登下校時に市内巡回をすることにより、不審者等から児童・生徒の安全を確保するとともに、いじめや非行防止を図ります。 				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 少年相談センター業務の見直しにより専門相談員が減員となるため、学校教育課や嘉麻市教育センター、関係機関、補導委員と連携・協力し、児童生徒のいじめや非行防止に努めるとともに、早期発見・早期対応を行う必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 生徒指導連絡協議会等の関係機関との会議で管内情勢について、情報共有を図るとともに、少年補導委員の定期的な巡回や街頭補導により、不審者からの児童生徒の安全の確保を図りました。</p>				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 児童生徒のいじめや少年非行を未然に防ぐため、嘉麻市教育センターや少年補導委員が連携・協力して取組んでいます。また、少年補導委員による定期的な市内巡回と朝夕の立番により、不審者や事故等から児童生徒を守ることに繋がっています。					
今後の方向性	児童生徒並びに保護者等からの相談に適切に対応できるよう、関係課・関係機関等と連携・協力し、相談業務の充実を図ります。 引き続き嘉麻警察署や補導委員等の関係機関と連携・協力を行いながら、児童生徒の安心・安全を守るとともに、少年非行の防止と適切な指導を行います。				
平成30年度の課題	児童生徒のいじめや非行防止に努めるとともに、不審者等から児童生徒を守るため、嘉麻警察署や嘉麻市教育センター等の関係機関と補導委員が連携・協力して、安心・安全な環境を作る必要があります。				
【評価委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健全育成の組織・支援体制は十分ですが、子どもの考えをどう理解し、その対応の仕方を再考する必要があると思います。 ・ 通学路の再点検が必要です。 ・ 少年補導委員の活動実態をきちんと管理・把握してほしいです。 					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

(6) 男女共同参画教育の推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[39] 学校における男女共同参画推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：－)</p>				
<p>目的</p>	<p>男女共同参画の意識づくりをする上で、家庭や学校・地域での教育が重要であり、「嘉麻市男女共同参画推進条例」の理念に基づき、男女共同参画の趣旨や必要性について、教育を通して意識改革と啓発を促進します。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>学校教育の場においては、指導者の共通認識のもとに男女平等の教育の体制をつくり、男女平等の視点から習慣・行事等の見直し、固定的性別役割分担にとられない指導を進めます。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 市内13校での校内研修の確実な実施と性に関する指導を推進します。 【課題等への取組み】 校内研修及び性に関する指導の実施状況を把握し、指導助言を行いました。また、小学校5年生を中心に、各教科や領域で活用できる冊子「嘉麻市男女共同参画推進条例 学ぼうそして行動しよう」を関係機関と連携して作成し、配付しました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>今後の方向性</p>	<p>教職員の共通認識のもと、男女平等等の観点から慣習・行事等の見直し、固定的性別役割分担にとられない指導を進めます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>「嘉麻市男女共同参画推進条例 学ぼうそして行動しよう」の冊子を活用した授業づくりを推進します。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・PRをもっとしてほしいです。「男女共同参画」という言葉が難解です。名称を考えることも大切です。まだ市民（国民）に浸透していません。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進
(6) 男女共同参画教育の推進

事業名 (予算/決算)	[40] 地域社会における男女共同参画推進事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：42千円 / 決算：42千円)				
目的	身近に生活する地域社会において、今なお地域に残っている固定的な性別役割分担意識に基づく慣習・慣行の見直しや男女共同参画の啓発を行うとともに、学習機会の提供に努めます。				
事業内容	家庭における家事・育児に男性の参画を促すような、また、女性の家事・育児からの負担軽減を図り、日常生活での固定的役割分担意識の解消につながるような事業を展開します。また、実施する事業の中で、男女共同参画についての情報提供など啓発を行います。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 男性保護者の家庭教育への参画の割合は低いので、家事・育児に男性の参画を促すような講座や、参加者が同じ作業を行うことで男女の性別役割分担意識を解消するような取組みが必要です。 【課題等への取組み】 男性保護者（父、祖父、おじ等）と子どもを対象とした「紙飛行機講座」を実施しました。男性保護者と子どもが協力して紙飛行機を作り、ともにその紙飛行機で遊ぶことで、ふれあいや会話が生まれ、講座終了後のアンケートでは「子どもと一緒に楽しめてよかった。」「ぜひまた参加したい。」というような意見もあり、男性が家庭教育に参画するきっかけとなりました。 また、生涯学習課の事業や会議等を行う際に、男女共同参画についての意識啓発等を行いました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
	【自己評価の根拠】 事業や講座を実施する中で、家庭における家事や育児に男性の参画を促すきっかけづくりを行うことができました。また、事業を実施する中で、事業に関わる人や参加者が、性別にとらわれることなく自分の個性や能力を発揮する機会を確保できるよう支援を行いました。通学合宿においても、性別に関わらず、皆で掃除・洗濯を行うなど、固定的な性別役割分担意識の解消に努めました。				
今後の方向性	実施する事業の中で、男女共同参画推進課と連携し、男女共同参画についての意識啓発を行います。また、男性の家事・育児への参画を促す講座や男女の性別役割分担意識の解消に繋がるような取組みを進めます。				
平成30年度の課題	男性保護者に対する主体的な子育てへの参画や、男女の性別役割分担意識の解消に向けた取組方法等について、男女共同参画推進課と協議し、連携・協力して取組む必要があります。				
【評価委員の意見】 ・諸行事は、男性にぜひ参加してもらえるように計画してください。 ・もっとPRしてください。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(1) 生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事業名 (予算/決算)	[41] 社会教育関係団体等育成事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：個別予算なし / 決算：－)				
目的	社会教育関係団体が主体的に活動できるよう情報の提供や研修会の実施、事業運営の支援を行い、協働のまちづくりが図られるよう地域のリーダーの育成に努めます。				
事業内容	社会教育関係団体をはじめ各種団体が、自主的な団体運営や事業展開が図れるよう指導助言等を行い、育成支援を行います。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 住民会議では、年間を通して活動が展開されるよう継続した支援が必要です。 子ども会では、支部活動への継続的な支援により、地域での活動を活性化する必要があります。 文化協会では、地域間の交流を推進するとともに、支部を越えた活動が活性化するように支援する必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 各団体に継続的に事業が展開できるよう支援を行うとともに、新たな取組みができるよう助言等を行いました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】 住民会議では、中学生フェスタの取組みも定着し、中学生サミットも第3回目を実施するなど継続して取組むとともに、学校とも継続して連携することができました。 子ども会では、支部で新規事業が行われるなど、それぞれの地区で一層活発な活動が展開されました。また、活動できていなかった単位子ども会が活動を再開するなどの動きも見られました。 文化協会では、各部門合同での総合交流展の企画や新規事業である書き初め大会を他団体と共催で開催されるなど、活発な活動と他団体との交流・協働が図られました。</p>				
今後の方向性	社会教育関係団体の運営の活性化を図るとともに、新たな取組みを促進するため、必要に応じて適切な指導・助言を行います。				
平成30年度の課題	それぞれの団体が、継続して活発に事業を実施できるよう、各団体に指導・助言を行いながら、継続的な支援を行っていく必要があります。				
【評価委員の意見】					
・最近、子ども会など諸団体の活動が鈍くなりました。活力がないのは仕方ないとして、継続してやってください。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(1) 生涯学習関係機関、団体との連携・協力体制の整備

事業名 (予算/決算)	[42] 社会教育関係団体活性化補助事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：7,958千円 / 決算：7,853千円)				
目的	社会教育関係団体が運営・展開する事業に対し、適正な補助金を交付し団体の活性化を図り、地域の教育力向上と生涯学習社会の確立の推進に努めます。				
事業内容	社会教育関係団体の活性化を図るため、稲築吹奏楽団、嘉麻市青少年育成住民会議、いなつき山笠実行委員会、民俗的伝統行事保存団体3団体(碓井地区：飯田地蔵祭、西郷奉納相撲、上臼井地区神楽)、嘉麻市子ども会指導者連合会、嘉麻市文化協会、嘉麻市PTA連合会の9団体に補助金を交付します。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 補助金交付について、目的や実施状況を精査し、適正な執行管理を行う必要があります。 【課題等への取組み】 各種団体が行う地域事業や社会教育関連事業に補助金を交付することにより、継続した取組みが行われ、地域の繋がりや地域の活性化が図れるよう支援しました。 補助対象事業について、総会資料や事業計画・総括、収支予算書・決算書などの内容を精査し、適正に執行されているか確認しました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	【自己評価の根拠】 社会教育関係団体が自主的・主体的に事業運営するための支援を行いました。交付要綱に基づき補助金を交付することにより、各団体が行う地域事業が、継続した取組みとして実施できるよう支援を行いました。				
今後の方向性	社会教育関係団体が主体性や自主性を持ち、自立して活動できるよう支援を行います。				
平成30年度の課題	各団体が継続して自主的・主体的に活動できるよう、引き続き支援する必要があります。				
【評価委員の意見】 ・補助金の増額も考えてください。少子化、若者不在の中、高齢者ばかりの団体で、それでも盛んにやっているのでもっと支援してほしいです。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事業名 (予算/決算)	[43] 社会教育施設整備事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：70,497千円 / 決算：69,355千円)				
目的	市民の様々な学習ニーズに応える生涯学習の場(拠点)を適切に提供できるよう、施設の特徴及び防災上の活用を考慮し、優先度の高いものから改修と整備(保守・管理)を行い、効果的な生涯学習活動の場としての整備を図ります。				
事業内容	社会教育施設として、なつき文化ホール・嘉穂生涯学習センター夢サイトかほ・上山田住民ホール・山田市民センター・下山田小学校白馬ホール・山田生涯学習館・稲築住民センターの運営、維持管理を行います。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 定期的な修繕や機器の更新を行うなど、計画的な整備を行うとともに、老朽化した施設を継続して利用できるよう、効率的な維持管理運営を行う必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 経年劣化等による大規模な修繕を行うために年次計画を作成しました。また、管理運営についても、利用者が快適に使用できるよう適切な修繕を行いました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 適切な施設管理運営を行うことで、利用者が快適に利用できる環境の整備を図りました。 また、定期的に施設の状況を把握し、生涯学習活動の場として安心して利用できるよう努めました。					
今後の方向性	生涯学習の拠点である社会教育施設を適正に維持管理運営することで、市民に教育・文化活動や発表を行う場と機会を継続して提供します。				
平成30年度の課題	市の行財政改革に伴う個別施設の見直し計画を策定する必要があります。				
【評価委員の意見】 ・市民文化を維持するためには、統廃合はいかなるものでしょう。 ・災害時には避難所となる施設なので、トイレなどの設備については、その時を考えておいてほしいと思います。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[44] ボランティア人材バンク事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：個別予算なし / 決算：－)</p>				
<p>目的</p>	<p>市民の生涯学習を支援するために、仕事や趣味などを通じて身につけた知識、技術、資格等を有する人を登録し、学校や地域のあらゆる場面で、その培った経験、技術等を活かし地域活動を支援する、生涯学習の推進、知の循環型社会の構築に努めます。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>生涯学習課や関係団体事業で人材バンク登録者を活用した講座や研修会を実施するなど、登録されているボランティアがより活躍できるような環境の整備を行います。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 人材バンク事業充実のため、研修会を継続した取組みにすることで、次年度に繋がるような事業へと展開していくことと、地域活動での活用等を検討する必要があります。 【課題等への取組み】 中央公民館係主催事業である夢まつりの中で、人材バンク登録者が日頃の活動を発表できる場を設け、事業の周知と啓発を行うことができました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 幼稚園・保育園(所)・小学校を中心に本の読み聞かせや室町文化学習などでの人材派遣を行いました。活用した学校等からまた活用したいとの報告があるなど知識などの継承に繋がっています。また、登録者の日頃の活動発表も含めた研修会を開催することにより、地域への周知が図られるとともに、生涯学習の推進に繋がりました。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>市民の生涯学習活動と、学校と地域住民との協働活動を推進するとともに、学校と地域が連携・協力できるような支援体制の構築に努めます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>ボランティア人材バンクの拡充を図るため、事業の周知方法や学校等への働きかけについて検討する必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・ボランティア登録者を今以上に活用できるように、各団体に要望して活動の場をつくってください。 ・登録しただけで、一度も出なかったということがないように、働きかけをする必要があります。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事業名 (予算/決算)	[45] 生涯学習推進事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：28,843千円 / 決算：26,891千円)				
目的	市民が自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習の総合的推進を図るとともに、地域の生涯学習施設等を活用した生涯学習のための活動を推進します。				
事業内容	地域活動指導員を配置し、地域活動及び生涯学習の推進を図ります。 社会教育関係職員・地域活動指導員の研修会への参加や、社会教育主事の養成など関係職員の資質向上に努めます。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 関係機関が実施する研修会に参加するなど資質の向上に努めるとともに、事業内容の見直しを行い、効率の良い事業運営を行うことが必要です。 【課題等への取組み】 筑豊教育事務所や社会教育総合センターで開催されている研修会への積極的な参加を促進し、地域活動指導員の資質の向上に努めるとともに、職員が社会教育主事資格を取得するなど人材育成に努めました。 また、定例で地域活動指導員会議を実施することにより、指導員間の情報共有を図り、相互に連携・協力して事業を実施しました。				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 地域活動指導員が各種研修会に参加することで資質の向上を図り、それぞれの地域に応じた講座の実施に繋げることができました。また、地域活動指導員会議において、指導員間の交流や意見交換を行ったことで、指導員が連携・協力して事業を実施するとともに、指導員の活動が促進され地域の生涯学習活動の活性化につながりました。					
今後の方向性	市民の生涯学習活動が円滑に行われるよう、地域活動指導員を配置し、家庭・地域の教育力の向上と、子どもたちの生きる力や地域リーダーの育成を図ります。				
平成30年度の課題	様々な研修会等への参加や市民のニーズを把握することにより、事業内容の見直し等を行う必要があります。				
【評価委員の意見】 ・社会教育主事は、課が変わっても活動できるようにしてください。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[46] 青少年体験活動推進事業 (生涯学習課：社会教育係) (予算：991千円 / 決算：927千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>青少年の人格形成に大切な少年期に生活体験や自然体験等の活動を促進し、社会性、自主性等を身につけた地域リーダーとなる人材育成を推進します。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>子どもの基本的生活習慣の確立を目指し、実行委員会と連携して実施している通学合宿事業、小学生が題材に沿ってエッセイを書く「わたしのエッセイ」事業など、子どもの体験活動を実施します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 通学合宿参加者募集に工夫をすることで、多くの子どもたちが参加できるよう検討します。 体験活動が実施されていない地域について、事業内容を考慮し、実施に向け検討する必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 通学合宿の実行委員や地域ボランティアが学校に出向き事業の説明を行ったり、実施中の映像を説明会等で上映するなど事業の周知を行い、参加者が増えるような取組みを行いました。 未実施の学校については、課題の整理を行うなど実施に向けて検討を行いました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>	<p>○</p>			
<p>【自己評価の根拠】 市内4地区で通学合宿を実施しました。各地区で参加数にばらつきはあるものの、地域ボランティアや通学合宿を経験した子どもたちがサポーターとして協力することにより、参加した子どもたちが集団生活を送り、炊事や洗濯など様々な体験をすることができました。 「わたしのエッセイ」事業は、平成28年度の応募数は1,103点でしたが、今年度は1,438点の応募があり、作品数が大幅に増えました。子どもたちがエッセイを書くことにより、表現力の向上に繋がっています。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>子どもたちに様々な体験活動の機会を提供することにより、社会性・自主性・表現力などの「生きる力」を育みます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>地域ボランティアは徐々に増えつつありますが、どの地区においても核となるボランティアの固定化が見られるので、役割分担などの運営方法を検討する必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・地域ボランティア、サポーターの掘り起こし、呼びかけが大切です。楽しい通学合宿を考えて、目標を持って参加させてほしいです。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[47] 公民館・分館等の連携強化推進事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算：30,245千円 / 決算：28,555千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>各地区公民館が地域の拠点として機能するよう施設の維持管理を行い、併せて各地区公民館・分館と連携し、地域住民の生涯学習の場として公民館の活性化を図ることを目的とします。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>分館及び自治公民館と情報共有し、各地域の公民館事業の活性化に向けた取組みを行います。また、将来の嘉麻市の公民館のあり方について共通理解を深め、組織の統一化を図ります。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 公民館基本方針及び公民館基本計画に基づき、地区公民館の役割を明確にし、共通理解を図り、各地域の公民館事業の活性化を図る必要があります。 また、地区公民館や分館の中には、老朽化している施設や耐用年数を超えた施設があり、今後は建替や改修等についても計画していく必要があります。 【課題等への取組み】 公民館基本方針及び公民館基本計画については、公民館運営審議会において、12回に亘る協議のうえ、平成30年3月に策定に至りました。施設の状況については実態把握に努め、今後の施設のあり方、整備のための財源等々についても検討を行っています。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>	<p>○</p>			
	<p>【自己評価の根拠】 地域住民の生涯学習の拠点となる公民館の役割は重要であり、各地区公民館と分館の連携は不可欠であるため、事業の必要性はA評価とします。公民館基本方針及び公民館基本計画を策定することで、公民館の今後の方向性を示すことができました。また、地区公民館、分館の役割を明確にすることで、各地域における公民館活動の活性化を図るための具体的内容についても、定めることができました。よって、事業の効果をA評価としました。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>公民館基本方針及び基本計画に基づき、公民館活動の活性化に努めます。また、本計画を進めるため、来年度からは各地域での住民説明や協議を行っていきます。耐用年数を超えた施設や老朽化した施設が多くあるため、施設の整備や修繕についても計画を立て、実施していきます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>公民館基本方針及び基本計画を進めるためには、地域住民の協力は不可欠であり、今後は地域住民への説明、協議を行いながら進めていく必要があります。また、耐用年数を超えた施設や老朽化した施設が多くあるため、施設の整備や修繕についても計画を立て、実施していく必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】</p>	<p>・公民館は地域文化の中心であり、公民館の統一化により住民生活が衰退しないようにしてほしいです。</p>				
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[48] 分館及び自治公民館等活動費補助事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算：8,458千円 / 決算：8,268千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>分館及び自治公民館への各種補助を行い、地域コミュニティの拠点づくりを図ります。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>自治公民館施設の維持管理及び各地区における公民館事業を開催するため補助金を交付し、様々な学習の場が提供できるよう地域コミュニティの拠点としての運営を支援します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 現在、着手している公民館基本方針及び公民館基本計画を平成29年度中に策定し、地域活動と公民館活動の関係を整理し、適正な公民館の規模を定め、対象区域の設定を行っていく必要があります。また、分館及び自治公民館には老朽化している施設や耐用年数を超えた施設があり、施設の統廃合も含め施設全体の管理についても検討していく必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 平成30年3月に公民館基本方針及び基本計画を策定し、今後の公民館の方向性を示すことができました。施設の統廃合や整備については、今後も地域住民との協議が必要ですが、ある一定の方向性を示すことができました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
	<p>【自己評価の根拠】 市全体の公民館事業の活性化のためには、各地域に設置してある公民館を拠点として、地域住民と一体となって事業を推し進める必要がありますので、必要性はA評価としました。 事業の効果としては、各分館及び自治公民館において、ある一定の公民館事業を実施することができたためB評価としました。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>公民館基本方針及び基本計画に基づき、市内全体を分館方式にするための取組みを進め、公民館活動の活性化を図ります。併せて、活動費補助金等の見直しを行っていきます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>公民館基本方針及び基本計画に基づき、市内全体を分館方式にするための取組みを進めていくには、地域住民の理解、協力は不可欠です。そのための地域住民への説明や協議を十分に行う必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・人口減少の中ですが、補助を増やし、活性化することが大切です。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[49] コミュニティ活動支援事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算：158千円 / 決算：84千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>地域と行政との「協働」による公民館運営の視点から、公民館の新たな可能性を模索し、今後の公民館づくりを目指すネットワークの構築を図ることを目的とします。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>地域ぐるみで青少年健全育成に努めるとともに、地域のつながりを強め、地域力の向上を図ることを目的に行われる地域の伝統文化や世代間交流事業等の活動を支援します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 平成28年度では実施できなかった各地区での「ときめき学習」の実施に向け、各地区公民館及び分館と連携し、事業を進めていきます。また、その内容を更に充実したものにする必要があります。 【課題等への取組み】 分館や地域ボランティアと共に企画立案し、協力しながら「ときめき学習」を実施することができました。平成29年度からは、山田地区の一部の分館とも協働で実施することができました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 「ときめき学習」「ふるさと探検隊」での体験活動は、子ども達の自立心及び他者への配慮等、様々な成長の糧となる重要な取組みであり、必要性はA評価とします。事業の効果としては、嘉穂地区では「ときめき学習」が定着しており、地域と公民館が協力し、活発に活動することができました。平成28年度からは稲築地区、碓井地区でも各地区公民館主催で実施しています。平成29年度からは山田地区の一部の分館でも開催することができ、市内4地区で実施することができました。しかしながら、市内全域での実施までには至っておらず、今後は市内全域で地域住民との協働による事業実施を目指します。 〔事業内容〕 ときめき学習 延べ27回 参加者数 1,106名 ふるさと探検隊 延べ11回 参加者数 317名</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>「ときめき学習」や「ふるさと探検隊」は、分館や地域住民と協働で実施している事業であり、今後もこの取組みを継続・拡大し、地域のつながりや地域力の向上を図っていきます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>分館や地域住民と協働で実施している事業である「ときめき学習」を少しずつ市内全域に広めてはいますが、いまだ市内全域での実施には至っていません。今後は市内全域での実施を目指し、更なる内容の充実を目指します。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・各活動を全市に広めて実施してほしいです。活動内容を理解したら協力者も増えると思います。知らなかったことが多いです。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(2) 学習機会の提供及び学習成果の活用促進

事業名 (予算/決算)	[50] 公民館事業 (生涯学習課：中央公民館係) (予算：1,803千円 / 決算：1,794千円)																													
目的	住民相互の交流と教養の向上、更には健康増進を図り、市民の生きがいつくりの場を提供することを目的とします。																													
事業内容	地域住民の生活に根ざした教育・文化に関する各種の事業・講座を開催します。また、公民館事業の活性化を図るため、市民の生涯学習活動の発表の場を提供するイベントを開催します。																													
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 平成29年度では、公民館基本計画策定に伴う市民アンケート及び公民館利用者アンケートを実施し、嘉麻市民の公民館での活動状況や意向等の把握に努め、公民館事業の活性化を図る必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 平成29年度に実施したアンケートの結果や市民説明会、分館長・自治公民館長会議でいただいた意見等を考慮しながら、公民館運営審議会において十分な審議を尽くされ、公民館基本方針及び基本計画の策定に至りました。市民ニーズを反映した取組みについて、今後の事業実施に向けた検討を行いました。</p>																													
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D																									
	事業の必要性	○																												
	事業の効果	○																												
	事業の効率性		○																											
<p>【自己評価の根拠】 公民館講座については、多様な学習機会を提供することにより、個々に学ばれたことが市民参画という形で地域に還元され、地域コミュニティの活性化に繋がるものであるため、事業の必要性はA評価とします。また、平成29年度については、公民館基本方針及び基本計画の策定により、今後の方向性を示すことができたので、事業の効果をA評価としました。</p> <p>〔主な事業内容〕</p> <table border="0" data-bbox="443 1339 1331 1563"> <tr> <td>盆踊り講習会</td> <td>延べ</td> <td>6回</td> <td>参加者数</td> <td>169名</td> </tr> <tr> <td>人権・同和問題研修会</td> <td>延べ</td> <td>4回</td> <td>参加者数</td> <td>67名</td> </tr> <tr> <td>サルビア大学</td> <td>延べ</td> <td>10回</td> <td>参加者数</td> <td>386名</td> </tr> <tr> <td>日本語教室</td> <td>延べ</td> <td>9回</td> <td>参加者数</td> <td>34名</td> </tr> <tr> <td>寄せ植え講座</td> <td>延べ</td> <td>3回</td> <td>参加者数</td> <td>64名</td> </tr> <tr> <td>夢サイトまつり</td> <td>延べ</td> <td>1回</td> <td>参加者数</td> <td>296名 等</td> </tr> </table>	盆踊り講習会	延べ	6回	参加者数	169名	人権・同和問題研修会	延べ	4回	参加者数	67名	サルビア大学	延べ	10回	参加者数	386名	日本語教室	延べ	9回	参加者数	34名	寄せ植え講座	延べ	3回	参加者数	64名	夢サイトまつり	延べ	1回	参加者数	296名 等
盆踊り講習会	延べ	6回	参加者数	169名																										
人権・同和問題研修会	延べ	4回	参加者数	67名																										
サルビア大学	延べ	10回	参加者数	386名																										
日本語教室	延べ	9回	参加者数	34名																										
寄せ植え講座	延べ	3回	参加者数	64名																										
夢サイトまつり	延べ	1回	参加者数	296名 等																										
今後の方向性	公民館基本方針及び基本計画に基づき、今後、公民館で実施する事業については、地域住民のニーズを踏まえつつ、住民が相互学習により地域の主体として活動することが可能となるような地域住民参画型の事業を推進します。																													
平成30年度の課題	公民館基本方針及び基本計画に基づき、事業展開を図っていくために、平成29年度に実施したアンケート結果を参考に事業の見直しを行い、新たな事業展開を図る必要があります。また、地域で活動する人材を支援するための講座やイベントの開催についても検討する必要があります。																													
<p>【評価委員の意見】 ・市民文化の向上のため必要であり、ぜひ拡大してください。</p>																														
教育委員会評価		今回		A																										
		(前回)		(B)																										

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(3) 図書館の利用促進

事業名 (予算/決算)	[51] 図書館施設管理運営事業 (生涯学習課：図書館係) (予算：87,974千円 / 決算：86,138千円)				
目的	図書館施設及び図書館システムを適切に管理運営することにより、読書環境の整備・充実を図り、快適かつ安心して利用できる図書館サービスを提供することを目的とします。				
事業内容	・図書館施設及び図書館システムの維持管理・選書等資料の管理 ・配本車の巡回・移動図書館車の運行・図書館だよりの発行 等				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 現在の移動図書館車を更に活用し、市内すべての学校への運行拡大及び団体貸出の配本を行う等、子どもの読書環境の更なる充実を図る必要があります。 【課題等への取組み】 移動図書館車については運行計画を見直し、幼稚園や学童保育所、学校への団体貸出の配本等も含めて、これまでの37か所から45か所へとステーションを増やし、運行を拡大しました。このことにより、今まで図書館に来ることのなかった子どもたちに対しても、本に親しむ機会を提供することができました。				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 4つの図書館は、それぞれの地域において、赤ちゃんからお年寄りまで、全ての嘉麻市民が利用できる施設であり、「地域の知の拠点」としての重要な役割を担っておりますので事業の必要性についてはA評価としました。移動図書館車の運行拡充により、移動図書館車での貸出冊数は前年度に比べ23.4%増加しています。しかし全体的には市民一人当たりの貸出冊数が昨年に比べ3.2%減少しています。読書離れの傾向は進んでいますが、昨年に比べ減少幅は小さくなっていますので、事業の効果はB評価としています。最低限の人員で窓口業務を行い、施設の維持管理にかかる経費についても、できる限りの経費削減を図っていますので、事業の効率性もB評価としています。					
今後の方向性	現在、旧自治体毎に設置している図書館について、その設置数及び運営方法について検討し、嘉麻市にふさわしい図書館の在り方(将来像)について一定の方向性を決定することとします。				
平成30年度の課題	嘉麻市の図書館の将来像について、市の財政状況等を踏まえた上で、各地域における読書活動を充実するための環境づくりについて、新たな視点に立った検討を行う必要があります。				
【評価委員の意見】 ・4館が多いことはわかりませんが、2～3館になると利用者としては困ります。利用しにくくなり、図書館離れが起きそうです。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(3) 図書館の利用促進

事業名 (予算/決算)	[52] 読書活動推進事業 (生涯学習課：図書館係) (予算：7,399千円 / 決算：6,883千円)				
目的	おはなし会・講座・読書講演会等、市民の読書活動のきっかけづくりとなる事業を開催し、読書活動の推進及び図書館利用の促進を図ることを目的とします。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタート事業・絵本ですくすく講座・定例おはなし会・赤ちゃんタイム ・朝の読書活動支援(小学校)・ブックトーク(小・中学校・土曜未来塾) ・おはなし工作会・夏休みイベント・一日図書館員・職場体験の受入れ ・らくらく読書会・読書講演会・映画会 				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 読書離れが始まる中学生、高校生のニーズを把握し、読書活動のきっかけとなるような事業を実施することや、学校図書館との連携を深め、生徒への働きかけを行う必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 市内の小・中学校や土曜未来塾等でブックトークを開催することや、中・高校生が図書館の職場体験の際に作成したおすすめ本のPOPを展示することで、図書館や本をより身近に感じていただくきっかけづくりを行いました。このように様々なアプローチをもって、読書活動の推進を図りました。</p>				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】 図書館利用及び読書活動のきっかけづくりとなる図書館事業は重要ですので、事業の必要性はA評価としました。4か月の乳幼児を対象にしたブックスタート事業につきましては100%の実施率となっており、またその後のフォローとしまして、各図書館で実施している定例おはなし会と併せて赤ちゃんタイムを導入することで、乳幼児期から読書に親しみやすい環境づくりを行っており、おはなし会の参加者も引き続き高い水準を維持していることから、事業の効果はA評価としました。事業の効率性については、これ以上の経費削減は難しいためB評価としています。</p>				
今後の方向性	第2次子ども読書活動推進計画に基づき、読書習慣の基礎となる乳幼児期から読書活動を支援する取組みを継続します。また乳幼児期に培った読書習慣が継続されるよう、家庭や地域、学校図書館等と連携を深めて、今後も様々な事業を実施していきます。				
平成30年度の課題	子どもから大人までそれぞれの年代に併せたより魅力的な事業を開催することで、多くの市民に図書館を利用していただくきっかけづくりを行う必要があります。				
	<p>【評価委員の意見】 ・図書館の中で色々な行事をし、きっかけづくりを考えて、おもしろいアイデアを出してはいかがでしょう。</p>				
教育委員会評価		今回	A		
		(前回)	(A)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

(3) 図書館の利用促進

事業名 (予算/決算)	[53] 図書ボランティア養成事業 (生涯学習課：図書館係) (予算：128千円 / 決算：43千円)				
目的	図書館事業の推進に必要な図書ボランティアの養成、活動支援を行うことを目的とします。				
事業内容	新規ボランティアの養成及び既存ボランティアの支援並びに嘉麻市図書ボランティア連絡協議会の活動支援を行っています。 ・読書ボランティアスキルアップ研修 ・読書ボランティア養成講座 ・嘉麻市図書ボランティア連絡協議会（総会、研修会開催支援等）				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 より多くの方に参加していただけるよう、事業の周知方法の工夫や魅力的な講座内容を検討し、若い世代の方に参加していただけるような取組み及び支援が必要です。 【課題等への取組み】 今の子どもたちの興味、関心の傾向を学び、より子どもたちにとって魅力的なボランティア活動が行われるよう「読書ボランティアスキルアップ研修」を行いました。また、若い世代の方々の参加を可能とするため託児の受入体制を整えました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 子どもの読書活動を促進するためには、地域のボランティアの協力が欠かせないことから、事業の必要性はA評価としました。読書ボランティアスキルアップ研修は嘉麻市図書ボランティア連絡協議会総会と併せて開催することで、昨年度と比べ2倍近い多くの参加者となったため、事業の効果はA評価としました。効率性としては、外部講師への謝礼もこれ以上の削減は難しいため、B評価としました。					
今後の方向性	今後もボランティア活動の実践に活かせるような事業を行い、既存ボランティアのスキルアップを図ります。読み聞かせ等の事業協力を止まらず、広く図書館を支援していただくボランティアの養成を図り、ボランティアと図書館との協働を進め、より地域に根差した図書館運営を目指します。				
平成30年度の課題	地域との協働による図書館運営や図書館応援ボランティアの活動に対する理解を深めていただくための啓発活動を行い、多くの研修参加者の獲得を図る必要があります。				
【評価委員の意見】 ・ボランティアの養成や募集などの啓発活動を続けてください。 ・読み聞かせ等の事業は、親子で参加できるように行ってください。					
教育委員会評価	今回		A		
	(前回)		(A)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(1) スポーツによる地域の活性化

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[54] スポーツコミュニティ創造事業 (スポーツ推進課：プロジェクトK・スポーツ推進係) (予算：10,715千円 / 決算：8,041千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>スポーツと健康運動を通じて、市民一人ひとりの潜在的能力の向上を図るとともに、地域における市民の主体的な活動を促進し、地域力が向上することを目的とします。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>スポーツの社会的意義の重要性を広めるとともに、スポーツを通じた地域の主体的かつ継続的な取組みを促進するため次の事業を実施します。 ①スポーツ推進委員・指導者を派遣します。 ②スポーツに関する身近な情報を提供します。 ③スポーツサークルの設立を支援します。 ④誰もが参加できるスポーツ教室を開催します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 スポーツ推進委員や地域活動指導員の事業については、出前講座や健康運動教室等の実施により、子どもから高齢者まで受講者の増加が図れていますが、地域における市民の主体的な活動の支援については、十分な支援ができていない状況ではありません。平成28年度に実施した鴨生地区に対する出前講座の試行を踏まえて、支援内容の枠組みを定め、関係機関と連携し、他の地域への拡充を図ることが必要です。 【課題等への取組み】 スポーツ出前講座を通じたコミュニティ活性化事業は、昨年度と同様に鴨生地区へ出前講座を実施しましたが、事業の拡充には至りませんでした。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 地域コミュニティの繋がりの希薄化の進行が問題視される中で、コミュニティの活性化のためのツールとしてスポーツへの期待が高まっています。国や福岡県のスポーツに関する計画においても、スポーツによる地域社会の再生が重要施策として位置づけられていますので、事業の必要性はA評価としています。 スポーツ推進委員や地域活動指導員による運動指導については、出前講座や健康運動教室などの実施により、延べ2,154人の市民に対して運動指導が実施できました。昨年度から開始した産後の母親を対象にした教室を実施したことにより、子育て世代の参加者の拡充も図ることができました。スポーツを通じたコミュニティ活性化事業については、鴨生地区の年2回延べ28人の参加にとどまり、事業の拡充には至りませんでしたので、事業効果・効率性はB評価としています。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>地域の主体的なスポーツ活動を促進し、地域コミュニティの活性化を目的として、引き続き広報嘉麻とスポーツ推進課ホームページを活用し、スポーツの魅力を伝えるとともに、スポーツ推進委員と地域活動指導員の指導スキルの向上を図りながら、より地域に密着した取組みを展開します。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>スポーツ出前講座を通じたコミュニティ活性化事業の拡充が課題です。講座の回数や内容など支援内容の枠組みを定め、生涯学習課や高齢者介護課、健康課と連携した事業を展開していく必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(1) スポーツによる地域の活性化

事業名 (予算/決算)	[55] スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業 (スポーツ推進課：施設管理運営係) (予算：個別予算なし / 決算：-)												
目的	スポーツに関係する多くの人々が嘉麻市を訪れ、スポーツを行い、観るとともに地域の人々と交流し、本市の豊富な自然環境と観光資源に触れ、親しんで帰ってもらうことで、地域活性化につなげることを目的とします。												
事業内容	スポーツ大会やスポーツ合宿の機会を活用するため、関係機関と連携して特産品販売などPRの場を設け、交流人口の増加と地域の活性化につなげます。また、大会の支援を行い、市民の運営や企画への参加を促します。												
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 交流人口の増加のため、スポーツ大会及び合宿誘致の各団体への働きかけとあわせて、ホームページなどを利用して広く情報提供を行う必要があります。 【課題等への取組み】 地元宿泊による合宿の誘致に合わせスポーツ大会開催の際には、お弁当の斡旋を行ったほか、11月25日に開催された九州中学校駅伝競走大会の支援を行いました。												
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D								
	事業の必要性	○											
	事業の効果	○											
	事業の効率性	○											
【自己評価の根拠】 スポーツ大会や合宿などの誘致や支援を行うことによって、スポーツ観戦の楽しさを提供し、スポーツへの関心を深め、スポーツに参加する契機となる役割を果たす必要性の高い事業です。平成29年度は、フットサル県リーグ、全日本ユース福岡県大会、アビ・ギラフットサル筑豊大会、九州中学校駅伝競走大会等のスポーツ大会の開催、陸上、サッカーの合宿を誘致した結果、誘致による交流人口は15,483人となり、目標の7,000人を大きく上回りました。 スポーツ施設を活用し、関係機関と連携してスポーツ大会や合宿を誘致することにより、地域に経済波及効果をもたらし、スポーツを通じた地域づくり、地域の活性化に繋がることが期待できます。													
今後の方向性	日本フットサルリーグをはじめ九州大会及び県大会レベルのスポーツ大会や合宿の誘致を推進することで、市民のスポーツ観戦・参加の機会を拡充し、多くの交流人口の創出と地域の活性化に繋がるよう努めていきます。												
平成30年度の課題	8月と10月に嘉穂総合体育館をホームアリーナとして福岡県初の日本フットサルリーグ（フリーグ）チーム、ボルグバレット北九州の試合が開催されます。今後は関係機関と連携し、社会体育施設を活用したさらなる交流人口の増加に努めます。												
【評価委員の意見】 ・ 広報PRして、中学校の駅伝大会やバスケットボール大会など誘致してください。 ・ 子ども駅伝イン嘉麻の大会に、市内からも出場することを勧めてみましょう。													
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td data-bbox="387 1966 842 2018" rowspan="2"> 教育委員会評価 </td> <td colspan="2" data-bbox="847 1966 1139 2018"> 今回 </td> <td colspan="2" data-bbox="1144 1966 1401 2018"> A </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="847 2024 1139 2076"> (前回) </td> <td colspan="2" data-bbox="1144 2024 1401 2076"> (A) </td> </tr> </table>					教育委員会評価	今回		A		(前回)		(A)
教育委員会評価	今回		A										
	(前回)		(A)										

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(2) スポーツ環境の整備

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[56] スポーツ環境創成事業 (スポーツ推進課：プロジェクトK・スポーツ推進係) (予算：584千円 / 決算：498千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>家庭や学校、自然の中など身近な場所での運動を進め、「市内のいたるところがスポーツ環境であること」という意識改革を目的とします。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>自然豊かで文化性に満ちた市内の環境を再発見するとともに、ジョギング、ウォーキングなどの手軽な運動に最適な運動環境を整備し、情報提供を行うことで市民の利用を促進します。 また、子どもの成長を促し心に刺激を与えるような環境づくりを目指し、全国でも例のないアイデアに満ちたスポーツ環境施設を創成します。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 市民が気軽に継続してウォーキングができるよう、ウォーキング・ジョギングコースの増設を行うとともに、社会体育施設内においてもウォーキング等ができるよう案内看板の設置など情報提供の充実を図ることが必要です。 【課題等への取組み】 嘉穂地区の益富山周辺のハイキングコースを作成し、ウォーキングイベントを開催しました。また、嘉穂総合運動公園内において、公園周回のウォーキングコースの案内看板を設置しました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 アンケート調査の結果から「スポーツをしていない」と回答した3割の市民の内、5割は「時間不足」、3割は「機会不足」と回答しています。また、社会体育施設の利用者の固定化を解消するためにも、身近な場所で簡単に行える運動の機会の提供は重要であり、必要性はA評価としています。 嘉穂地区益富山周辺のイベントには16名が参加し、文化財係との連携により文化資産の説明を交えたイベントが実施できました。嘉穂総合運動公園内に公園周回のウォーキングコースの案内看板を設置したことにより、ウォーキング実施者数の増加に寄与しています。ウォーキング人口の増加のためには、更なる情報提供の充実を図ることが必要ですので、事業の効果・効率性はBとしています。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>社会体育施設や歴史・文化資産と自然環境を有機的に結合することにより、新たなスポーツ環境を発掘し、身近な場所で簡単に行える運動の機会を提供するため、引き続きウォーキングコースやジョギングコースを作成し、イベントの開催や情報の提供を行います。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>イベント参加者だけではなく継続的なウォーキング実施者の増加が課題です。ウォーキング・ジョギングコースの増設を図るとともに、市内の都市公園等においてもウォーキング等ができるよう、案内看板の設置、情報提供の充実を図ることが必要です。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・ウォーキングする方が多くなっており、歴史との融合や自然豊かなまちを活かした取組みを推進して欲しいと思います。まちのPRにもつながります。 ・体育館の2階をウォーキングの場として活用するよう市民に広報PRしてほしいです。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(2) スポーツ環境の整備

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[57] 社会体育施設管理運営事業 (スポーツ推進課：施設管理運営係) (予算：142,797千円 / 決算：140,361千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>市民のニーズに応じた、より快適なスポーツ活動の場を提供することを目的としています。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>スポーツ施設の効果的かつ効率的な管理運営と、市民ニーズに対応するため施設の整備などの検討を行い、適正化を図ります。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 老朽化に伴う施設の補修・改修にあわせて、老朽化した施設の設備についても適切な取替・補修を行っていく必要があります。 【課題等への取組み】 嘉穂総合体育館空調機補修工事、嘉穂総合運動公園浄化槽ブローモーター取替工事を行ったほか、スイミングプラザなつきにおいて自動残留塩素測定装置の取替やスポーツ振興くじ助成金を活用してトレーニング機器4台を購入しました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効率性</p>	<p>○</p>			
<p>【自己評価の根拠】 社会体育施設の効果的かつ効率的な維持管理を行うことで、快適なスポーツ環境を提供することができ、市民の健康増進や体力向上、生涯スポーツを推進する上で必要性の高い事業です。平成29年度体育施設の利用者数は406,169人と目標の398,000人を大きく上回りました。 施設の管理については、足白小学校跡地にボルダリングセンターとレストラン、宿泊施設を兼ね備えた観光拠点施設が整備されることに伴い、足白体育館とグラウンドの2施設の用途廃止を行いました。施設の補修・改修については、施設全体が老朽化していることから、利用者のニーズに応じた維持管理を効果的かつ効率的に行っていく必要があります。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>子どもから高齢者、障がい者に至るすべての利用者が安心して利用できるような適切な補修・改修を行い、快適にスポーツを行える場所や機会を提供することで、市民の健康増進、地域の活性化を図っていきます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>老朽化している施設について、平成30年度に策定予定の個別施設見直し計画をもとに、施設の利用状況等を勘案しながら適切な補修・改修を計画的に行っていく必要があります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・小中高校生のボルダリング大会をやってはいかががでしょうか。PRを更にしてください。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(3) 生涯スポーツの推進

事業名 (予算/決算)	[58] プロジェクトK事業 (スポーツ推進課：プロジェクトK・スポーツ推進係) (予算：5,097千円 / 決算：3,310千円)				
目的	乳幼児から高齢者、障がい者に至るすべての市民を対象に、脳科学、認知科学などに基づいたコーディネーショントレーニングを導入することにより、体力・運動能力の発達だけでなく、知的能力の発達、情緒的な安定や創造性豊かな人格形成等を図ることを目的とします。				
事業内容	すべての市民に対応できるコーディネーショントレーニングのプログラムを構築し、その普及を行います。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 保育士や教員、障がい者施設、高齢者介護施設などが日常の指導現場でトレーニング指導ができるよう、さらなる指導者の育成や啓発が必要です。 【課題等への取組み】 荒木教授による指導者研修会は、保育士、小学校教員を対象とした研修会のほか、中学校教員を対象にした研修会も開催し、指導者の育成や啓発を図りました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
【自己評価の根拠】 本事業はコーディネーショントレーニングを全ての市民に普及することにより人材育成、さらには地域の活性化に繋げる全国でも類を見ない取組みです。特に子どもに対する教育施策の充実は、過疎化が進む本市において、定住人口の増加を目指す上で最重要事項ですので、事業の必要性はA評価としています。 今年度は全公立保育所と私立保育園・幼稚園12園中9園、全小学校がトレーニングを実施しており、トレーニングの普及も順調に進んでいます。指導者の育成は、市内研修会及び徳島大学内研修に延べ194人が参加し、今年度は中学校教員に対する指導者の研修会も実施しました。したがって、事業の効果・効率性についてもA評価としています。					
今後の方向性	トレーニングの普及は、中学校から高齢者、障がい者までの分野についてもプログラムの継続的な支援を推進します。 指導者の育成は、研修会を受講した指導者が継続的に、かつ発達支援など個別課題に応じて実践できるような取組み、また、指導者相互のネットワーク構築を図り、コーディネーション理論とスキルの向上を目指す取組みを推進します。				
平成30年度の課題	中学校に対するプログラムの普及が課題です。中学校保健体育科教員等に対する研修会の充実を図ることが必要です。				
【評価委員の意見】 ・小学校教員のスキルアップ、フォローをしてほしいと思います。					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

(4) 競技スポーツの推進

事業名 (予算/決算)	[59] 競技スポーツ推進事業 (スポーツ推進課：プロジェクトK・スポーツ推進係) (予算：8,610千円 / 決算：7,097千円)				
目的	誰もが、自らの目標に即してスポーツ競技力を伸ばそうとするスポーツ文化を広めるとともに、小・中・高校生からの優れた体力・運動能力、さらには運動学習能力、潜在的能力を豊かに伸ばしていくことを目的とします。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公的な各種スポーツ競技大会を開催します。また、子ども達を対象に、普段、経験したことのないスポーツ体験会を開催します。 ・スポーツに関心を寄せ、楽しさを見出すトップアスリートとの交流会を開催します。子ども達のタレント発掘と競技力育成に関わる事業を展開し、全国や世界で活躍できるスポーツ選手の育成に取組みます。 ・スポーツ指導者、スポーツ推進委員、教員、保育士、一般市民を対象にした身近なスポーツ科学、運動科学、栄養学、コーディネーショントレーニングなどに関する学習会、研修会を開催します。 				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 市民の競技スポーツへの関心を高めるためには、プロスポーツ選手などトップアスリートとの交流機会を増加することが必要です。また、子どもの競技力の向上を図るためには、ジュニア期からの競技力向上を目指した取組みと、その指導者の育成を図ることが必要です。 【課題等への取組み】 小中学生を対象に元日本代表選手によるバレーボール教室を開催しました。子どもの競技力向上に関する事業については、小学校低学年を対象に荒木教授のコーディネーション理論に基づく競技スポーツに対するコーディネーショントレーニングの教室を実施しました。				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性	○			
	【自己評価の根拠】 本市出身の市民が全国などの舞台上で活躍することは、多くの市民に夢や感動、誇りと勇気を与え、市民のスポーツへの関心や参加意欲を促し、市のスポーツ振興に大いに貢献するものと考えられます。同時に、スポーツを行う人々が、自らの限界に挑戦し、努力と工夫によって競技力を高めることは、スポーツ文化を広め豊かなコミュニケーション社会を育む重要な取組みですので、事業の必要性はA評価としています。 元日本代表選手によるバレーボール教室では、小学生44人、中学生24人が参加し、トップアスリートの技術や経験を目の当たりにすることができました。また、荒木式スポーツコーディネーショントレーニング教室では、小学3年生15名が年間16日間、水泳、テニス、バレーボールのスポーツコーディネーショントレーニングを受講し、子どもの競技スポーツへの関心や競技力の向上を図れました。また、事業を通じて指導者の育成につながることを期待されますので、事業効果・効率性はA評価としています。				
今後の方向性	競技人口の増加を目指し、市民のスポーツへの関心や参加意欲を高める事業を推進するとともに、子どもの競技力向上を目指した事業を推進します。				
平成30年度の課題	子どもの競技力向上と指導者の発掘・育成を図るため、荒木式スポーツコーディネーショントレーニング教室を引き続き実施し、事業内容の充実を図ることが必要です。				
【評価委員の意見】	・意見は特にありませんでした。				
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進

(1) 学校教育における人権・同和教育の推進及び支援

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[60] 人権・同和教育推進事業 (学校教育課：教務係・指導係) (予算：個別予算なし / 決算：－)</p>				
<p>目的</p>	<p>福岡県人権教育・啓発基本指針及び嘉麻市人権教育・啓発基本指針に基づき、学校教育活動全体を通して、児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を十分に発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身につけることができるよう指導していきます。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>学校における人権教育の指導の充実を図ります。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 教職員の認識を深める研修と教育活動における具現化を推進します。郷土を愛する人材育成の取組みと並行して、見直しを図ります。 【課題等への取組み】 各学校における特設の人権学習の実施状況を把握しました。また、郷土を愛する人材育成の取組みを推進する中で、地域のひと・もの・ことに出会わせ、繰り返しかわりながら、郷土に誇りを持てる児童生徒を育てるための授業づくりを進めました。</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 各学校とも人権教育の全体計画に基づき、人権・同和教育の推進に努めました。その教育内容については、今後の指導資料とするため調査を行いました。また、若年の教職員が増加していくことを踏まえ、個別の人権課題について継続的に研修を実施していくようにしました。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>学校教育活動全体を通して、児童生徒が共生の心を身につけるとともに、自分らしさや能力を十分に発揮し、人権問題を主体的に解決していく力を身につけることができるよう進めます。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>教職員の認識を深めるために、部落問題解消の内容で、全教職員を対象にした研修会を実施します。また、教科や領域の中で児童生徒の意識が高まるような授業づくりを推進します。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進

(2) 社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

事業名 (予算/決算)	[61] 人権学習推進事業 (生涯学習課：人権・同和教育係) (予算：2,385千円 / 決算：2,280千円)												
目的	同和問題をはじめ女性、子ども、高齢者、障がい者、アイヌの人々、外国人、HIV感染者、性的少数者等に対する人権課題を解決し、人権尊重社会の実現に向け、嘉麻市人権教育・啓発基本方針に基づき、社会教育における人権・同和教育を一層推進するとともに、市内の各種団体等の協力を得ながら、行政区単位地域研修会、団体・サークル等研修会、企業内人権・同和問題研修会を実施します。また、関係行政機関及び地域活動指導員(人権・同和教育指導員)との連携を行い、社会教育における人権に関する学習を推進します。												
事業内容	嘉麻市の人権・同和教育の推進を図るため、市内各行政区をはじめ、団体・サークル等、企業や市職員の人権・同和問題研修会を実施し、人権・同和問題に関する意識の向上を図っています。												
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 現在開催している研修会に加え、各地区公民館で研修会を開催するなど、人権・同和問題について学ぶ機会を充実させる必要があります。 【課題等への取組み】 市民を対象とした人権・同和問題研修会を中央公民館係と共催で各地区公民館において開催しました。人権・同和教育指導員が講師として「部落差別の解消の推進に関する法律」について講話を行い、新しくできた法律の周知と学ぶ機会の充実を図りました。												
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D								
	事業の必要性	○											
	事業の効果		○										
	事業の効率性		○										
【自己評価の根拠】 地域研修会においては、人権・同和教育指導員が、個別の人権課題に関する研修資料(パワーポイント)を作成するなど、学習内容の工夫を行うとともに、わかりやすい研修に努めました。行政区や団体・サークル等での研修会開催回数は、平成28年度20回から29年度25回に増やすことができました。 また、各地区公民館と連携して市民を対象とした研修会を開催するなど、市民が人権問題について正しい認識と理解を深める機会を充実させることにより、日常生活においても差別への気づきに繋がっています。 今後も、地域研修会や事業主研修会など、研修を受ける側のニーズにも対応できるようにスキルを磨いていき、充実した研修を提供していきたいと考えています。													
今後の方向性	人権・同和問題について市民意識の醸成が図られ、偏見や差別のない人権が尊重される心豊かなまちづくりへ繋がるよう、同和問題をはじめとする様々な人権問題について、正しい認識と理解を深める機会や場の提供に努めます。												
平成30年度の課題	人権に対する関心を普段から高めていく必要があります。また、講義形式の一方的な学習形態にのみ偏ったりしないよう、内容や手法に一層の工夫と配慮を行うとともに、周知方法を検討する必要があります。												
【評価委員の意見】 ・研修会の開催を増やすことが大切です。PTA、公民館、行政区、隣組、企業への働きかけをもっとやってください。実施回数が少ないように思います。													
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td data-bbox="387 1962 842 2018" rowspan="2"> 教育委員会評価 </td> <td colspan="2" data-bbox="850 1962 1139 2018"> 今回 </td> <td colspan="2" data-bbox="1147 1962 1394 2018"> B </td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="850 2029 1139 2076"> (前回) </td> <td colspan="2" data-bbox="1147 2029 1394 2076"> (B) </td> </tr> </table>					教育委員会評価	今回		B		(前回)		(B)
教育委員会評価	今回		B										
	(前回)		(B)										

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進

(2) 社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[62] 解放子ども会育成事業 (生涯学習課：人権・同和教育係) (予算：5,562千円 / 決算：5,185千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>解放子ども会を開催し、解放子ども会に参加する一人ひとりが、人権・同和問題について正しい認識と理解を深める活動を推進します。また、合宿研修会などの開催により、小中学生が寝食、学習、野外体験活動を共にすることで、連携や交流を促進します。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>稲築・碓井地区において解放子ども会を開催し、人権・同和問題についての学習を行うとともに、嘉麻市解放子ども会として合宿研修会や発表会等に取り組んでいます。</p> <p>(1) 解放子ども会活動 (2) 解放子ども会合宿研修会 (3) 解放子ども会社会見学会 (4) 解放子ども会フィールドワーク (5) 解放子ども会発表会</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 児童生徒が減少していく中で、実施方法等の検討を継続して行う必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】 引き続き、地域や学校と連携しながら、参加者を増やすための取組等について協議するとともに、参加しやすい実施方法や意欲をもって学習や子ども会活動が行えるように継続して検討しました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効果</p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事業の効率性</p>	<p></p>	<p>○</p>	<p></p>	<p></p>	<p></p>
<p>事務局自己評価</p>	<p>【自己評価の根拠】 解放子ども会を開催するとともに、小学校ではリーダー会、中学校では隣保館学習、さらに合宿研修会、社会見学やフィールドワークを行いました。活動を通じて人権・同和問題について正しい認識と理解を深め、仲間づくりや基礎学力の向上を図るとともに、発表会においては、1年間の総括を行いながら、次年度の学習に繋げる振り返りの場を設けました。また、学校、家庭及び地域が連携することで、お互いの理解と心の繋がりが深まり、自分の大切さはもとより、他の人の大切さも認める思いやりの心が養われ、子どもたちの生きる力を育むことに繋がりました。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>人権・同和問題について、正しい認識と理解を深めることにより、人権感覚の涵養と差別を許さず、差別をなくしていこうとする子どもの育成を図ります。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>児童生徒が学んだことや感じたことを自分なりの考えを持って発表できるように支援する必要があります。また、その想いを保護者の方にも参観して聞いていただくことが課題です。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・意見は特にありませんでした。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>A</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進

(2) 社会教育における人権・同和教育の推進及び支援

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[63] 解放学級育成事業 (生涯学習課：人権・同和教育係) (予算：1,352千円 / 決算：1,170千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>解放学級及び日常生活で文字の読み書きに不自由している人々を対象にした識字学級を開催し、学級生一人ひとりが、人権・同和問題について更なる正しい認識と理解を深める学習や学級活動を推進します。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>稲築・碓井・嘉穂地区において、解放学級を開催し、人権・同和問題についての学習を行うとともに、碓井地区においては、識字学級を開催することにより文字の読み書き学習を支援しています。</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 学級生の自主的・主体的な学習活動を支援できるように、今後も運営委員間の連携を図る必要があります。また、時代と共に様々な人権・同和問題も発生しており、引き続き指導者としてのスキルアップを図る必要があります。 【課題等への取組み】 同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、地域住民の自主的・主体的な学習活動を学校と協力してサポートしました。また、多様化する人権・同和問題について指導員のスキルアップを図るとともに、正しい認識と理解を深めるための学習や学級活動等を支援しました。</p>				
<p>事務局自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>				
<p>事業の効果</p>		<p>○</p>			
<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>			
<p>事務局自己評価</p>	<p>【自己評価の根拠】 解放学級及び識字学級を開催することで、学級生一人ひとりが、人権・同和問題について更なる正しい認識と理解を深めることが出来ました。また、今年度は、合同閉講式を行い、学級を代表しての実践報告を行ったことで、自らの学級の次年度への学びに繋がるとともに、お互いの理解と心の繋がりを深め、共に学びを深める大切さを認識することができました。識字学級生においては、様々な教材を活用し、学級生それぞれが学習内容を深めることができるよう支援を行ったことにより、学習の場と機会の確保を図ることができました。</p>				
<p>今後の方向性</p>	<p>社会の変化に伴い多様化する厳しい差別の現実に打ち克つ力を身につけるため、一人ひとりが継続して自ら気づき、考え、行動する力を培う学習活動を支援します。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>年齢層が高くなっているため、若年層の参加が課題です。</p>				
<p>【評価委員の意見】</p>	<p>・少人数でも開催することが大切です。参加しやすいように、日曜日や夜間の開催など検討する必要があると思います。</p>				
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(B)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題7 市民文化の創造

(1) 美術に関する創造的活動の推進

事業名 (予算/決算)	[64] 文化芸術活動推進事業 (生涯学習課：美術館係) (予算：個別予算なし / 決算：－)				
目的	市民が美術館を身近なものに感じ、美術館で文化芸術を鑑賞・創作する機会及び展示発表に活用できる場の充実を図ります。				
事業内容	美術団体など主体的な活動を行う団体と連携協力を図り、市の文化団体などの展示活動への協力、支援を行います。 また、サークル等のアトリエでの創作活動を支援するとともに、子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供します。				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 子どもたちが感性を磨き、考える力、表現力などを学ぶ機会の充実を図るため、美術館と学校等との双方向の交流を活性化する必要があります。 【課題等への取組み】 子育て支援センターや小学校、中央公民館等と連携し、子どもたちが体験し学ぶ機会を支援しました				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	【自己評価の根拠】	<ul style="list-style-type: none"> 美術館では、館内外で、文化芸術体験や文化芸術活動を推進するため関係団体を支援し連携するとともに、美術館の周知に努めています。 美術館を活用し、子どもたちにマナーや作品の鑑賞方法、楽しみ方などを説明し、本物の芸術作品の魅力や美術館とはどういう施設か伝えることができました。また、子育て支援センターと連携し、就学前の親子で館内見学後、創作を楽しんでもらい、幼い頃からの美術との触れ合い、創作の大切さを伝え、美術館の利用を促しました。 美術館のアトリエでは5つのサークルが学習活動を継続し、嘉麻市文化協会や美術団体、学校関係などが作品展示の場として展示室5を活用するなど、芸術文化活動の場として活用され、市内外から多くの人々が美術館を訪れました。 「夢まつり」や「子どもフェスタ」等のイベントや公民館分館等で子どもを対象に、また、オレンジサロンで高齢者向けに創作体験の場を設けるなど、幅広く市民の創作体験を支援し、創作の楽しさを伝えています。 			
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 市文化協会など関係団体と連携し、市民の芸術鑑賞の機会や展示活動、アトリエでの主体的な創作活動を支援します。 学校や地域等と連携し、子どもたち等の芸術鑑賞や創作活動を支援します。 				
平成30年度の課題	今後も学校や地域等と連携し、子どもたちの芸術鑑賞や創作活動の機会を提供します。				
【評価委員の意見】					
・学校と美術館は、双方向での交流の機会を増やしてほしいです。					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題7 市民文化の創造

(1) 美術に関する創造的活動の推進

事業名 (予算/決算)	[65] 美術館運営管理事業 (生涯学習課：美術館係) (予算：37,102千円 / 決算：35,963千円)				
目的	市民が文化芸術活動や憩いの場として、美術館及び公園を快適かつ安心して利活用できるよう、施設等の維持管理及び運営を行うとともに、美術館並びに実施事業の周知を図ります。				
事業内容	美術館及び隣接する公園の維持管理を図るとともに、適切な環境の中で収蔵、展示作品の保存管理を行います。				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 今後も計画的かつ継続して施設等の修理を含めた維持管理を行う必要があります。</p> <p>【課題等への取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示室2照明器具の取替と展示室5入口前の照明の増設を行いました。 ・年次計画による空調設備関係の部品取替修理を行い、継続して必要な業務の委託を行いました。 ・正面玄関へ誘導するため既存の看板の手直しを行いました。 				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	<p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照明のLED化や空調の温湿度を調整するなど、経費節減に努めました。 ・適切な維持管理により、美術館という特殊な空間の中で快適に作品鑑賞や学習、作品展示が行われ、美術館の魅力を伝えることができました。 ・通常の清掃、樹木剪定等の他に予算を活用し藤棚・園路沿い等の樹木剪定や職員で芝刈りを行うなど安心して利用できるよう環境整備ができました。 ・公園は憩いの場として市民や保育所、小学校の遠足等で利用されるほか「ふれあいまつり」の会場となり、嘉麻市のPRと美術館の周知を図ることができました。 ・収蔵庫の温湿度管理や燻蒸を継続実施することにより、郷土の画家織田廣喜作品など、貴重な収蔵作品を後世に伝えるため、維持管理ができました。 				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・快適な環境を維持するため継続して、美術館並びに隣接する公園の維持管理と運営に努め、周知を図ります。 ・資料の収集・整理や収蔵展示作品の維持管理に努め、活用を図ります。 				
平成30年度の課題	今後も継続して施設及び収蔵展示作品の維持管理に努め、活用を図ります。				
	<p>【評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを多く開催し、PRを含め利用者の増加を図ってください。 ・維持管理面では厳しいので、地域に根差したものにしてください。価値観を上げていってほしいです。 				
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題7 市民文化の創造

(1) 美術に関する創造的活動の推進

事業名 (予算/決算)	[66] 企画展事業 (生涯学習課：美術館係) (予算：4,621千円 / 決算：4,424千円)				
目的	著名な作家や郷土ゆかりの作家の作品展示及び優れた芸術作品の鑑賞機会を提供することにより、こころ豊かな感性を育み文化の向上を図ります。				
事業内容	「春のコレクション展2017」 4月 1日～ 4月16日 (14日間) 「アートキッズ展」 7月29日～10月 1日 (55日間) 「第73回福岡県美術展覧会筑豊展」 10月31日～11月19日 (18日間) 「オダビエンナーレ2017」 12月 1日～ 1月28日 (44日間) 写真家 四宮佑次「風に吹かれて in 嘉麻」 「春のコレクション展2018」 3月 1日～ 3月31日 (27日間)				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 開館20周年事業を終え、今後の中期、長期的な事業の計画を立てることが必要です。 【課題等への取組み】 今後の中期、長期的な事業計画を立てるため、収蔵作品の活用や「嘉飯山の画家たち展」など、企画展の在り方について検討しました。				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性		○		
	【自己評価の根拠】	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵作品を活用し「コレクション展」と「アートキッズ展」を開催しました。「コレクション展」では、織田廣喜以外の作品や、織田廣喜の作品と林忠彦撮影の織田廣喜の写真による新たな視点で展示ができました。「アートキッズ展」は、教育普及事業であるアートキッズ参加児童が子どもの視点による手作り企画展で、子どもたちの豊かな発想、想像したものが作品となり、豊かな心と感性を育む一助ともなりました。 ・県内4会場のみで開催される県展巡回展の1つ「筑豊展」では、市民の受賞1名と入選3名の作品など優れた芸術作品（洋画・日本画・写真・デザイン・書）を鑑賞する場を提供でき、人々の創作の励みともなりました。 ・「オダビエンナーレ」では、日々の暮らしの中で見過ごしていた嘉麻の魅力を写真にて伝えることができました。 			
今後の方向性	収蔵作品を活用した「コレクション展」や「特別企画展」を開催し、優れた作品を鑑賞する機会を提供し、その周知と嘉麻市のPRにも努めます。				
平成30年度の課題	企画展の周知と学校での活用を図ります。				
【評価委員の意見】					
・PRを図ってください。					
教育委員会評価		今回	B		
		(前回)	(A)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題7 市民文化の創造

(1) 美術に関する創造的活動の推進

<p>事業名 (予算/決算)</p>	<p>[67] 美術教育普及事業 (生涯学習課：美術館係) (予算：683 千円 / 決算：601 千円)</p>				
<p>目的</p>	<p>楽しみながら創作活動を行う機会や場の提供を行い、芸術への興味を深め豊かな感性と表現力を育むことにより、美術教育の充実を図るとともに、子どもたちの美術活動の充実と、美術館の活動に関わる美術館ボランティアの人材育成を図ります。</p>				
<p>事業内容</p>	<p>①年3回のボランティア会議と学習会を開催。小学生対象の講座等でサポートや講師の補助を行いました。 ②美術館講座を開催 ・日本画教室 16回 18歳以上 受講者 24名 ・体験講座 写真講座 4回 中学生以上 受講生 31名 デザイン講座 4回 中学生以上 受講者 30名 近畿大学連携事業 2日間 小学生 受講生 16名 ・アートキッズ 16回 小学生 受講者 20名 ・わくわくアトリエクラブ 2回 4歳児～小学生とその保護者 受講者 16組</p>				
<p>平成29年度の課題と取組み</p>	<p>【課題等】 近隣の高校や大学に働きかけ、ボランティアの増員を目指します。また、充実した講座内容となるよう、講座開設方法について検討する必要があります。 【課題等への取組み】 近隣の高校や大学を含めボランティアの募集を行いました。講座の実施曜日等を検討し、日時を設定しました</p>				
<p>事務局 自己評価</p>	<p>【評価項目】</p>	<p>A</p>	<p>B</p>	<p>C</p>	<p>D</p>
	<p>事業の必要性</p>	<p>○</p>			
	<p>事業の効果</p>		<p>○</p>		
	<p>事業の効率性</p>		<p>○</p>		
<p>【自己評価の根拠】 ・美術館では、市民文化の創造を目指し、子どもから大人まで専門講師による芸術文化を体験する場を設けており、定員を超える申込みがありました。 ・大人の体験講座、写真、デザインや日本画では学びを深め、日本画教室は、サークル化しアトリエで学びを継続するなど文化芸術活動を推進することができました。 ・子どもの体験講座は、近畿大学と連携し、児童は産業理工学部の特徴を生かした空間デザイン、情報工学を用いた創作活動を体験することができました。 ・アートキッズの児童たちは、専門講師の指導のもと、美術館ボランティアや高校生ボランティアの支援を受け、学校では味わえない様々な体験を通して想像力や表現力を学びました。なお、内容によっては職員が講師となり経費削減に努めました。 ・保護者と体験するわくわくアトリエクラブでは、親子で触れ合いながら作品を作ることの楽しさを体感する場を提供できました。</p>					
<p>今後の方向性</p>	<p>・専門家の指導による美術講座を開催し、学ぶ機会を提供します。 ・新たなボランティアの募集を行い、事業の充実を図ります。</p>				
<p>平成30年度の課題</p>	<p>講座内容の見直しと新たなボランティアの募集と研修に努め、人材育成を図ります。</p>				
<p>【評価委員の意見】 ・講座内容を増やしましょう。参加しやすい講座を開催してください。「こんな講座を開催してほしい」という市民ニーズを見つけましょう。</p>					
<p>教育委員会評価</p>		<p>今回</p>		<p>B</p>	
		<p>(前回)</p>		<p>(A)</p>	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題7 市民文化の創造

(2) 文化財の保護・継承・活用

事業名 (予算/決算)	[68] 文化財保護事業 (生涯学習課：文化財係) (予算：4,109千円 / 決算：3,849千円)				
目的	市内に残る多様な文化財を郷土の「たから」として後世に伝え、適切な活用が図れるように、文化財の保護管理に努めることを目的とします。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の運営 ・指定文化財等の維持管理 ・指定文化財への補助金交付 ・埋蔵文化財の事前審査 ・各種文化財の調査 				
平成29年度の課題と取り組み	<p>【課題等】 未指定文化財に対する保護対策</p> <p>【課題等への取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内に残る未指定文化財等をリストアップし、課題等の整理をしました。 ・未指定文化財1件の現況調査を実施し、所在確認等を行いました。 				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果			○	
	事業の効率性		○		
<p>【自己評価の根拠】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会：年2回 ・指定文化財等の維持管理：沖出古墳、鎌田原遺跡、千手川甌穴群、古高取山田窯の草刈等 ・指定文化財への補助金交付：山野の楽、平山の獅子舞、下臼井西の盆綱 ・埋蔵文化財事前審査：書類審査120件、工事立会3件、試掘調査4件 ・文化財の調査・整理：嘉穂地区遺跡群出土品及び写真・図面類の台帳整備 ・未指定文化財の現況調査：1件（未指定文化財等の保護対策が後手に回っています。） 					
今後の方向性	中長期的な保存活用計画を策定し、計画に基づいた文化財保護を行います。				
平成30年度の課題	文化財の保護と活用にかかるマスタープランの策定（31年度まで）				
<p>【評価委員の意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当職員を増やし、市内の文化の発掘（未指定のもの）をしてほしいです。 ・地元の人が意外と知らないなので、広報PRをもっとしてください。 ・予算の増を要望します。 					
教育委員会評価		今回		B	
		(前回)		(B)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題7 市民文化の創造

(2) 文化財の保護・継承・活用

事業名 (予算/決算)	[69] 歴史民俗教育普及事業 (生涯学習課：文化財係) (予算：3,376千円 / 決算：3,237千円)				
目的	市内に残る多様な文化財の活用を図り、郷土への誇りと愛着を培うとともに、郷土の歴史・文化のPRに努めることを目的とします。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・沖出古墳特別公開(春・秋)：4/15・16、10/14・15 ・「筑豊・最後の坑夫たち」写真展：6/1～7/17 ・「語り、伝える 戦争の話」(第6回)：8/5 ・「福岡の青い目の人形たち」展：8/8～8/27 ・団体、学校などへの学習支援、講師派遣等 ・「語り、伝える 戦争の話」記録集発刊 				
平成29年度の課題と取組み	<p>【課題等】 限られた組織体制の中で効率の良い事業運営を行っていくこと。</p> <p>【課題等への取組み】 現場での事業を主に嘱託職員が担っていること、また係の職場が3か所に分散していることなどから、係ミーティングをはじめ連絡調整を密にし、相互の応援体制を充実させました。</p>				
事務局自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果	○			
	事業の効率性		○		
【自己評価の根拠】 <ul style="list-style-type: none"> ・沖出古墳特別公開(春・秋)：363名 ・「筑豊・最後の坑夫たち」写真展：1,873名 ・「語り、伝える 戦争の話」(第6回)：31名 ・「福岡の青い目の人形たち」展：227名 ・団体、学校などへの学習支援、講師派遣等：17件 ・「語り、伝える 戦争の話」記録集発刊：600部 					
今後の方向性	学習支援、他部署等との連携強化を推進していきます。				
平成30年度の課題	歴史ボランティアの育成(32年度まで)				
【評価委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・若いボランティアを探しましょう。 					
教育委員会評価		今回		A	
		(前回)		(A)	

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

■重要課題7 市民文化の創造

(2) 文化財の保護・継承・活用

事業名 (予算/決算)	[70] 歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業 (生涯学習課：文化財係) (予算：9,498千円 / 決算：9,344千円)				
目的	効率的な施設運営を図り、学校教育及び社会教育並びに郷土の歴史・文化のPRに貢献することを目的とします。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史民俗資料展示・保管施設（4館2室）の維持管理 ・ 収蔵資料の台帳整備 ・ 収蔵資料の貸出 ・ 収蔵資料の模写等（画像資料の利用） ・ 寄贈資料の受け入れ 				
平成29年度の課題と取組み	【課題等】 利用頻度が低い資料室の見直し 【課題等への取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 山田郷土資料室及び稲築ふるさと資料室の現況を確認し、資料整理の方針を検討しました。 ・ 稲築ふるさと資料室の収蔵資料整理に取り組めるように、30年度以降の係の職員配置について検討しました。 				
事務局 自己評価	【評価項目】	A	B	C	D
	事業の必要性	○			
	事業の効果		○		
	事業の効率性			○	
	【自己評価の根拠】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史民俗資料展示・保管施設（4館）の利用者数：6,549名 ・ 収蔵資料の台帳整備：※72点（資料整理のみ） ・ 資料貸出件数：11件 ・ 資料模写等（画像資料の利用）件数：18件 ・ 寄贈資料件数：5件 				
今後の方向性	施設の統廃合及び機能の見直しについて検討します。				
平成30年度の課題	稲築ふるさと資料室の資料整理及び台帳作成（31年度まで）				
	【評価委員の意見】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の内容から、臨時職員を配置することが必要です。 ・ 施設が分散しており、整理することを考えましょう。 				
教育委員会評価		今回	B		
		(前回)	(B)		

A：期待どおり、B：概ね期待どおり、C：課題あり、D：事業の見直し要

5. 全体評価結果

(1) 全体評価結果

全体の評価結果については、事務局の自己評価と点検評価委員の意見を踏まえた教育委員会の評価結果は、下記のとおりとなりました。(全70事業)

	前年度 教育委員会評価		本年度 教育委員会評価
A：期待どおり	38事業 (54.3%)	⇒	45事業 (64.3%)
B：概ね期待どおり	31事業 (44.3%)	⇒	25事業 (35.7%)
C：課題あり	1事業 (1.4%)	⇒	0事業 (0.0%)
D：事業の見直し要	0事業 (0.0%)	⇒	0事業 (0.0%)

評価の方法は、昨年度同様に事業完了度ではなく、目標達成度及び第三者評価の観点から総合的に評価を行いました。また、今後の方向性及び平成30年度の課題につきましても、あわせて検討いただきました。

前年度の評価と比べると、期待どおりの「A評価」が54.3%から64.3%（10.0%の増）、概ね期待どおりの「B評価」が44.3%から35.7%（8.6%の減）、課題ありの「C評価」が1事業から0事業となり、事業の見直し要の「D評価」はありませんでした。昨年度に比べてA評価の事業が増加していることから、課題解決を図り、事業を効果的かつ効率的に進めてきた成果であると考えます。

(2) 重要課題ごとの評価及び課題

■重要課題1 少人数指導等による学力向上

「少人数指導推進事業」の取組みにより、小学校において、標準学力検査（NRT）における平均偏差値は、平成26年度以降は標準偏差値50を上回り、「51.5」まで上昇しています。中学校においても、標準学力分析検査の結果は年々上昇しており、標準偏差値に対して「-2.1」にまで差を縮めました。また、全国学力・学習状況調査においては、全国平均正答率を上回る学校は、小学校2校でしたが、平成22年度以降すべての教科区分で数値が上昇し、全国平均との差を縮めています。しかしながら、学校間や学年間、学級間の格差がみられることから、今後は、嘉麻市学力向上全体構想における具体策の浸透、徹底を図っていく必要があります。

「嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業」においては、学力向上推進員の学校への指導及び支援体制を継続していきます。また、嘉麻市土曜未来塾では、通塾したすべての児童生徒が「勉強がわかるようになった」と答えるなど、その成果は一人ひとりが確実に実感しています。今後も、児童生徒のさらなる参加を促すとともに、個に応じた支援により、学力の基礎基本の定着と家庭学習の習慣化を図ります。

■重要課題2 個性又は能力を育成する学校教育の充実

「特別支援教育総合推進事業」や「補助教員配置事業」については、適切な人員配置により、児童生徒の教育的ニーズに応じた支援や指導が図られています。今後ますますその必要性が増えていくことが予想されますので、配置した人員の効果的な活用について工夫していくとともに、個別の教育支援計画及び指導計画に基づき、通常学級と支援学級との連携した支援の充実を図る必要があります。

「情報教育推進事業」では、ICTを活用した授業改善や教職員の情報活用能力の向上が図られてきました。今後さらに増加するネット犯罪等から児童生徒を守るために、インターネットやLINEなどのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の適切な利用方法の指導を充実する必要があります。

「大規模改造工事事業」については、第4次教育アクションプランでは「学校施設整備事業」に引き継ぎ、引き続き安全・安心な教育環境に維持及び教育の質を向上させていくため、施設整備を実施していきます。

■重要課題3 豊かな人間性及び志をもってたくましく生きる力を培う教育の推進

不登校問題等の解決に向けた体制の充実を図るため、「教育相談推進事業」や「学校支援相談員配置事業」を実施し、不登校傾向の児童生徒に対する早期対応や関係機関との連携協力による組織的な取組みにより、不登校の児童生徒数は、平成28年度が49名で、平成29年度は46名と減少傾向にあります。今後も関係機関との連携を強化し、不登校問題の解消に努めていきます。

また、「適応指導教室（れすとぴあ）推進事業」では、通級生徒全員が学校への復帰はできませんでしたが、中学3年生の通級生徒は全員が高校（通信制含む）へ進学できました。このことから、不登校児童生徒にとっては必要な事業であり、今後も継続して実施する必要があります。

家庭・地域の教育力を高める支援体制の充実については、子ども会などの地域団体が学校の授業の中で地域の活動を紹介する場を設けるなど、学校と地域の人々が交流できるような事業を支援するとともに、青少年の健全育成のため、教育センターや警察署・補導委員など関係機関と連携・協力しながら、子どもの安心・安全を守り、青少年のいじめや非行防止に努めていきます。

家庭教育支援の充実を図るため、他の課・係と連携し、子育て中の親子が繋がりを作ることができる連続講座を実施し、子育て家庭の孤立防止に努めました。また、子どもの基本的な生活習慣の確立を図るため、メディアに関する啓発活動を行い、実施回数を平成28年度の141回から201回に増やすことができました。今後も継続した取組みを推進することにより、家庭の教育力向上に努めていきます。

男女共同参画教育の推進については、家庭や地域などでの日常生活における固定的性別役割分担意識の解消に繋がるような取組みを行うとともに、男女共同参画推進課と連携・協力し、男女共同参画についての説明や情報提供などの啓発に努めます。また、各学校においては、平成29年度に作成した「嘉麻市男女共同参画推進条例 学ぼうそして行動しよう」の冊子を活用した授業づくりを推進します。

■重要課題4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進

社会教育関係機関、団体との連携・協力体制の整備については、社会教育関係団体が自主運営・自主活動できるように支援するとともに、継続して活動や事業が行われるよう連携・協力していく必要があります。

学習機会の提供及び学習成果の活用促進については、青少年の生活体験や自然体

験などを通して、社会性・自主性等を身につけた地域リーダーとなる人材の育成に努めます。また、ボランティア人材バンクを活用した学校と地域の連携強化と、地域活動の活性化を図ります。「わたしのエッセイ事業」では、応募数が平成28年度の1,103点から1,438点に増加し、子どもたちの表現力の向上に繋がっており、今後も様々な体験活動の機会提供に努めます。

公民館事業については、平成30年3月に策定した嘉麻市公民館基本方針及び基本計画に基づき、将来に向けた公民館の在り方について検討を行い、各地域における公民館活動の活性化を図るための組織の再構築を図ります。

地域住民が公民館講座に参加することで、自ら学び、学んだことの達成感を得て、学んだことを地域に還元していく仕組みを構築し、住民が主体的に参画するような意識の醸成を図ることで、地域住民を「集める」のではなく、自らが「集う」公民館への発展を目指します。

図書館運営事業については、嘉麻市にふさわしい図書館の在り方(将来像)を模索し、その設置数及び運営方法について新たな視点に立って検討を行い、図書館サービスの地域間格差解消及び市民の利便性向上を図りつつ、安全で安心な読書環境の充実を図ります。

■重要課題5 体力及び運動能力向上の推進

「スポーツコミュニティ創造事業」では、スポーツ推進委員や地域活動指導員による教室等により延べ2,154人の市民に対して運動指導が実施できましたが、活動の範囲は、嘉穂総合体育館や稲築体育館、各学童保育所など限られた場所によるものです。スポーツを通じた地域における市民の主体的な活動を促進するためには、行政区の集会所等における出前講座の充実を図る必要があります。

コーディネーショントレーニングをすべての市民に普及することにより、人材育成、地域の活性化、さらには定住人口の増加を目指す「プロジェクトK事業」では、公立保育所全5カ所と私立保育園・幼稚園12園中9園、小学校全8校がトレーニングを導入し、乳幼児から小学校児童までは体系的な導入が図られています。今後も、保育士や小学校教員が日常の指導現場でコーディネーショントレーニングを実施できるよう指導者の育成を進めながら、乳幼児や小学校児童への事業の充実を図るとともに、中学校保健体育科教員等に対する研修会を実施するなど、中学校に対する体系的な導入に向けた取り組みが必要です。

また、スポーツ大会やスポーツ合宿を誘致し、交流人口の増加と地域の活性化を目指す「スポーツ大会誘致・スポーツ大会支援事業」では、交流人口が目標の7,000人を大きく超え15,483人となりました。今後も、施設の維持改善を図りながら有効活用を促進し、交流人口の増加を目指します。

■重要課題6 人権尊重精神を育成する教育の推進

人権・同和教育の推進を図るため、行政区、各種団体等や事業主を対象に研修会を実施しました。行政区等での実施回数は、平成28年度20回から平成29年度25回に増やすことができました。

また、各地区公民館と連携して市民を対象とした「部落差別の解消の推進に関する法律」についての研修会を実施し、新しくできた法律の周知と学ぶ機会の充実を図りました。

今後も、同和問題をはじめとする様々な人権問題について、正しい認識と理解を深める機会や場の提供に努めます。

■重要課題7 市民文化の創造

適切な維持管理により快適で安心して美術館や琴平公園、収蔵作品の活用を図ることができました。今後も適切な維持管理を継続することが必要です。

アトリエや展示室5では、自主的な創作、展示活動が行われ、多くの方が来館しました。今後も創作活動や発表・展示活動などを支援し、関係団体と連携し、市民文化の創造と美術館の活用、周知を図ります。

美術講座では、子どもから大人まで創作を楽しみ、中でも日本画教室は、サークル化し学びを深めます。「夢まつり」「子どもフェスタ」、地域公民館などでも子どもたちは創作を体験しました。今後も、美術講座の開催や、作品の鑑賞方法や作品の魅力を伝え、芸術文化への興味と関心を深め、また、学校や地域に出向き、人々の芸術鑑賞や創作体験を支援し、美術教育普及にも取り組みます。

収蔵作品を活用した「コレクション展」や「アートキッズ展」では、織田廣喜以外の作品も新たな視点で鑑賞でき、オダビエンナーレでは、写真にて嘉麻市の魅力を再発見しました。今後も「コレクション展」や「特別企画展」を開催し、優れた芸術作品を鑑賞する機会を提供し、嘉麻市のPRにも努めます。

文化財の保護・継承・活用にあたって、「文化財保護事業」では、指定文化財の維持管理等を行っています。今後は、計画行政への転換を図るため文化財の保護と活用にかかるマスタープランの策定に努めます。「歴史民俗教育普及事業」では、炭鉱写真展や平和教育事業を実施し、多くの参加がありました。今後は、他部署等との連携事業を充実させ、歴史ボランティアの育成に努めます。「歴史民俗資料展示・保管施設の管理活用事業」では、既存6施設の維持管理に努めています。しかし、各施設の活用状況に格差が生じているため、各施設機能の明確化と見直しが必要です。平成30年度は、稲築ふるさと資料室の資料整理及び台帳作成に努めます。

(3) おわりに

今回点検した第3次教育アクションプランにおける実施事業は、それぞれの数値目標を達成するため、計画的かつ効果的に着実に推進している状況です。

この第3次教育アクションプランの計画期間が、平成29年度をもって終了したことから、平成30年度からは、4期目となる「第4次教育アクションプラン」に引き継ぎ、各事業の目標達成に向けて取り組んでまいります。

また、点検評価委員の皆様からは、自己評価に対する指摘、改善策等のご意見をいただき、これらのご意見を各事業の取組みに反映させ、今後の嘉麻市教育行政の発展に役立てていきたいと思っております。

最後に、点検評価に参加・ご尽力くださいました委員の皆様にご心よりお礼を申し上げ、点検・評価報告書のまとめとさせていただきます。

《資料》

嘉麻市教育委員会点検評価実施要綱

[平成21年嘉麻市教育委員会要綱第6号]

[平成23年嘉麻市教育委員会要綱第4号]

[平成24年嘉麻市教育委員会要綱第4号]

[平成26年嘉麻市教育委員会要綱第4号]

[平成26年嘉麻市教育委員会要綱第6号]

[平成27年嘉麻市教育委員会要綱第5号]

(趣旨)

第1条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条及び嘉麻市教育基本条例（平成22年嘉麻市条例第16号。以下「条例」という。）第7条の規定に基づき、嘉麻市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が実施する事務の点検及び評価について、必要な事項を定めるものとする。

(点検評価事項)

第2条 教育委員会は、前年度の教育委員会の事務の管理及び執行の状況について、次に掲げる事項の点検及び評価（以下「点検評価」という。）を行う。

- (1) 教育委員会の会議の実施状況等に関すること。
- (2) 教育委員会の主要な施策に関する執行の状況及びその成果に関すること。

(点検評価の方法)

第3条 教育委員会は、点検評価を実施するに当たり、別に定める評価表により教育委員会事務局において、その所管する事務事業等の自己評価を行わせるものとする。

2 教育委員会は、前項の自己評価の結果について評価の客観性を確保するため、嘉麻市教育委員会点検評価委員（以下「評価委員」という。）を設置する。

3 教育委員会は、評価委員の意見を踏まえ、教育委員会の会議において最終的な点検評価を行う。

(評価委員)

第4条 評価委員は、10人以内とし、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 嘉麻市議会議員
- (2) 嘉麻市PTA連合会委員
- (3) 嘉麻市社会教育委員
- (4) 嘉麻市公民館運営審議会委員
- (5) 嘉麻市立図書館協議会委員
- (6) 嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会委員
- (7) 嘉麻市スポーツ推進委員
- (8) 嘉麻市文化財保護審議会委員
- (9) その他教育委員会が適当と認める者

(公表の方法)

第5条 教育委員会は、条例第7条の規定により点検評価の結果に関する報告書は次に掲げる方法で公表する。

- (1) 嘉麻市公式ホームページに掲載
- (2) 報道機関に提供
- (3) 教育委員会での閲覧

(庶務)

第6条 点検評価の実施に関する庶務は、学校教育課において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、点検評価の実施に関し必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この要綱は、平成21年7月8日から施行する。

附 則

この要綱は、平成23年4月5日から施行する。

附 則

この要綱は、平成24年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成26年10月16日から施行する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から適用する。

平成30年度嘉麻市教育委員会点検評価委員名簿

(敬称略)

	団 体 名	氏 名
1	嘉麻市議会	岩永 利勝
2	嘉麻市PTA連合会	永富 靖人
3	嘉麻市社会教育委員の会議	大神 千津
4	嘉麻市公民館運営審議会	春口 勇介
5	嘉麻市立図書館協議会	添田 民子
6	嘉麻市立織田廣喜美術館運営協議会	手島 静恵
7	嘉麻市スポーツ推進委員	山根 芳文
8	嘉麻市文化財保護審議会	石井 春美
9	嘉麻市教育センター (その他教育委員会が適当と認める者)	安永 信博

嘉麻市教育委員会点検・評価報告書

(平成29年度事業分)

発行 嘉麻市教育委員会 学校教育課
〒820-0392 福岡県嘉麻市大隈町733番地
TEL 0948-57-3198

発行年月 平成30年8月